

# 関西学院後援会通信



はじめませんか、  
親と子と関学の絆づくり。

63

AUTUMN 2022



# MASTERY FOR SERVICE

63

AUTUMN  
2022

## Contents

- 03 関西学院後援会NAVI
- 05 院長・後援会会長からのメッセージ
- 07 The Spirit of KWANSEI
- 11 Welcome to K.G. Campus!
- 13 We Are KWANSEI!
- 19 私もK.G.です IN THE COMPANY
- 23 Career@KG
- 27 K.G.最前線 留学・国際教育編
- 31 新月祭
- 33 ホームカミングデー
- 37 CLOSE UP RESEARCH
- 41 後援会報告 KWANSEI GARUN
- 45 院長室だより
- 46 プレゼントのご案内
- 47 関西学院会館のご案内

MASTERY  
FOR  
SERVICE

MASTERY  
FOR  
SERVICE

MASTERY  
FOR  
SERVICE





「後援会」  
ってなに？

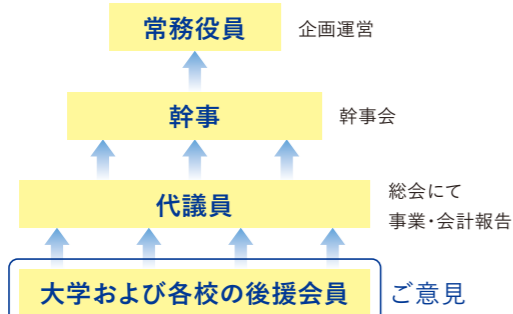
# 関西学院後援会 NAVI

～保護者の皆さまが会員です～

本誌の製作・発送元である関西学院後援会とはどのような組織なのか。  
皆さまには多くのご理解とご支援をいただいておりますが、改めてご紹介します！

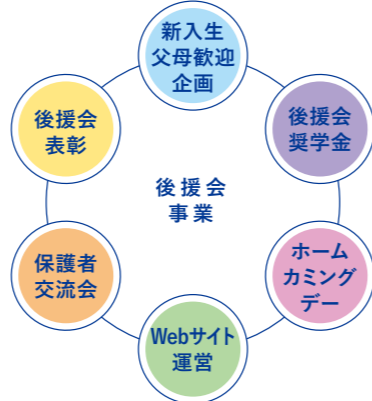
## 後援会の目的

学院の教育目的達成のため保護者の立場から後援をなすことを主たる目的とし、規約に基づいて役員を選出しています。



## 後援会の役割

お子様の学生生活における活動援助、保護者への還元事業を根幹とし、本誌やWebサイトにて情報を発信しています。



## 後援会の事業

本誌にも後掲しておりますが、教育懇談会への共催、保護者交流会を主催するなど、様々な事業を展開しています。

## 後援会の援助

後援会の目的を遂行するため、大学祭や文化祭、奨学金など学生・生徒・児童の学生生活における活動をサポートしています。

## 関西学院後援会サイト

後援会サイトでは「後援会通信」に掲載した過去の記事をカテゴリ毎に公開しています。その他、後援会事業に関するお知らせ・活動報告なども更新しておりますので、ぜひご覧ください。

[こちらからチェック!](#) >>>



もっと詳しく知りたい方は >>>

本誌または後援会サイトに後援会規約を掲載しております。



## 事業 REPORT

コロナ禍においては様々な事業を中止せざるを得ませんでした。2022年度は開催形式を工夫しながら、事業を再開しております。その一部である保護者交流会をREPORTします！



## 参加者の声

- コロナ禍で十分な大学生活が送れず保護者としては不安でしたが、今日お話を聞く中で解消されました。
- 子どもが興味を持っている留学プログラムの内容について説明が聞けてよかったです。
- コロナ禍において地方で開催してくれたことに感謝します。
- 留学に向けてのスケジュールや、担当者の学生時代の話など実際の体験談が聞けてよかったです。
- やはりオンラインより、直接お話を聞くのが良いと感じました。
- 就職に関するたくさんの情報が参考になりました。
- キャリアセンターや留学の担当者、県の同窓会や後援会長などから、直接お話を聞けてとても有意義な時間でした。
- 就活時の子どもへの接し方がとても参考になりました。
- コロナ禍の手厚いサポートに安心しました。

保護者交流会のみならず、様々な後援会事業が2年の空白期間を経ています。

[保護者の皆さまに関西学院後援会を知ってより身近に感じていただきたく、今回改めてご紹介しました。](#)

保護者交流会への参加はもちろん、本誌アンケートの回答など、

[関西学院後援会の事業にお気軽にご参加ください。](#)

それでは、以降のページもどうぞお楽しみください。

## 関西学院後援会卒業生家族の会に関するご案内

各校のご卒業をもって後援会員を退会される皆さまから「関西学院とのつながりを継続したい」とのお声をいただき設立された卒業生家族の会。後援会通信の送付を始めた様々な特典をご用意し、今後更なる充実を図ってまいりますので、ぜひご加入ください。



# 院長・後援会会長からのメッセージ

日頃から関西学院の教育に御支援、御協力いただいていますことを心から感謝いたします。

院長に就任して半年が過ぎようとしています、できるだけ園児や生徒たちと出会い、直接声を聞きたいと願ってきました。もちろん、頻繁にそのような機会を得ることは不可能ですが、数人の生徒たちと話すことが貴重な経験となっています。それは、その生徒を通して各学校の様子や若い人たちが直面しているものを垣間見ることができるからです。そのような出会いを通して、関西学院で学ぶ彼らや彼女たちが良い人生を歩んでくれることを切に願っています。

しかし、わたしたち大人が子どもをコントロールして良い人生へと導けるわけではありません。子どもたちは、社会の中で良い影響を受けるだけでなく、さまざまな影響を受けて、親や教師、そして本人も望まない行動をとってしまうこともあります。子どもたちは、親や教師が望むと望まざるとにかかわらず、良いものも、悪いものも経験することになるでしょう。大人が良いと思っている環境で育ったことが、逆に子どもに悪い影響を与えることもあります。それは、私自身がそうであり、何度も親を失望させたり、悩ませた経験があり、また自分が親の立場になって悩んだ経験もあるので、よく分かります。

聖書の中に「万事が益となるように共に働くということを、わたしたちは知っています」(ローマの信徒への手紙8章28節)という言葉があります。関西学院には、「万事が益となるように共に働く」という信頼に基づいた教育があります。それは楽観的な教育観ではなく、子どもたち一人ひとりが神様によって愛されているという関西学院の教育の基盤に基づいた子どもたちへの信頼です。

子どもたちは成長の段階でいろいろなことを経験し、それとどう向き合っているのか悩んでいます。学院、教師、そしてご家族の皆さまが力を合わせて、そんな子どもたちの教育に携わっていきたくと思っています。そして、子どもたちが自分自身の人生への信頼を得て、「万事が益となるように共に働くことを知っている」と言える歩みをしてくれることを願っています。



関西学院 院長  
中道 基夫  
Nakamichi Motoo

新型コロナウイルスに罹患された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

平素は関西学院後援会につきまして、多大なるご理解及びご支援をいただき誠に有難うございます。

関西学院後援会とは学校法人関西学院が設置する大学、聖和短期大学、高等部、中学部、初等部、千里国際中等部・高等部に通う約27,000人もる学生・生徒・児童の保護者の方々によって「関西学院の教育目的達成のための後援」を目的として設立された組織であり、文字通り関西学院ファミリーの活動支援を行っております。

新型コロナウイルスの流行を受け、学生達はこの2年程オンライン授業やマスク着用の生活等かなり不便を感じていたと思います。本来楽しいはずの学校生活もなかなか経験出来ず、友人との思い出作りにも影響を及ぼしていたことは想像に難くありません。我々後援会としても、厳しい環境下の学生を少しでも援助できればと知恵を絞った活動を続けて参りましたが、経済的に困窮を強いられ学業に専念出来なかった学生のことを思うと今も心が痛みます。

近時新型コロナウイルスは再び猛威を振るっておりますが、その一方で諸外国と比較して感染者数を一定レベルに留められたのは、ひとえに医療従事者の方々の献身的な活動及び我々ひとりひとりが自発的に感染予防に努めた結果だと感じております。

「他者を思いやり、自らを律する」

まさに関西学院のスクールモットーである“Mastery for Service”の精神が活かされたと言えるのではないのでしょうか。

学生にとって明るい話題の少ない期間だったかも知れませんが、“Mastery for Service”の精神を体現した者として、今後の人生に活かしてほしいと願ってやみません。同時に今後の学生生活がより実りあるものになるよう、後援会活動を保護者の皆様と共に発展させたいと考えておりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝とますますのご発展、そして何よりも学生たちが安心して楽しい学生生活を過ごせることを心より祈念申し上げます。



後援会会長  
重久 庄児  
Shigehisa Shoji



# The Spirit of KWANSEI

## 卒業生インタビュー

各界で活躍する関西学院の卒業生たち。  
その根底に流れる「関学スピリット」を  
インタビューから紐解きます。

長い下積みを経て花開いた  
小説家という夢。

素晴らしい作品を読者に届けるため  
常に挑戦し続けたい。

姉である放送タレント・塩田えみさんの影響もあり、幼い頃からエンターテインメントの世界に関心があった塩田武士さん。高校時代に喜劇俳優や漫才師に挑戦するも、なかなか芽が出ず活動を断念します。1998年に関西学院大学社会学部へ進学し、在学中に小説家を志すように。卒業後は新聞記者として働きながら、小説の新人賞に応募し続け、第5回小説現代長編新人賞を受賞した『盤上のアルファ』でついにデビューを果たします。2016年に発表した著書『罪の声』で第7回山田風太郎賞を受賞するなど、小説家としてのキャリアを着実に重ねている塩田さん。今回は、エンターテインメントに魅せられた過去や大学在学中の思い出、小説家としての思いなどをお聞きました。

# 塩

Shiota Takeshi

# 田

# 武

# 士



# The Spirit of KWANSEI



家族の影響で、幼い頃からエンターテインメントの世界に憧れを抱く

— 高校生の時には喜劇俳優や漫才師として活動されていた塩田さん。どのような青春時代を過ごされたのでしょうか。

家族の影響で、幼い頃から様々なエンターテインメントに触れる機会が多くありました。まず母が私に読み聞かせてくれた本は、なんと童話ではなく松本清張の著書。印象的な本の中に、『顔』という作品がありました。この物語では、役者の卵である主人公が自らの保身のために大きな罪を犯します。その後、主人公は役者として成功を取りますが、有名になればなるほど、過去の罪が暴かれるのではないかと恐怖に追い詰められていきます。その姿を通して、母は「悪いことをしたら結局自分に返ってくるんやで」と私に言うのです。そこだけを切り取ると、確かに多くの童話と似たような教訓を伝えているのですが、内容がかなり衝撃的でしょう(笑)。幼い頃から人間の狂気やそこに宿る面白さといったものに関心があったのは、間違いなく母の読み聞かせによるものだと思います。8つ年上の姉の存在も大きかったですね。当時高校生だった姉の世代では、私たち姉弟と同じ兵庫県尼崎市出身のお笑いコンビ・ダウンタウンが大ブームに。姉と一緒にテレビを見ているうちに、お笑いに夢中になりました。「巨人」や「阪神」という同世代の子はみんな野球を連想する中、私はオール阪神・巨人の漫才に夢中だったんです(笑)。こうしてすっかりエンターテインメントの世界に魅せられた私は、高校生の時に喜劇俳優や漫才師として活動を始めることに。コンビを組んでプロダクションに所属していたこともありましたが、一生懸命ネタを書いているコンテストに出場していましたが、見事にウケない(笑)。受験シーズンになりコンビは解散。家族からの薦めで、関西学院大学に進学することにしました。

切磋琢磨し合える仲間に出会えた学生時代。就職後は二足の草鞋で、夢に向かって突き進む

— 関西学院大学での学生生活で印象に残っていることを教えてください。

難波功士教授のゼミでの活動です。難波先生はとても気さくな方で、私がゼミの課題でコントの映像を撮影した際には、カソラをかぶって出演してくれたこと(笑)。学生の自由を尊重する難波先生のもとには、とにかく個性溢れるゼミ生が集まっていました。中でもひときわ存在感を放っていたのが、音楽ユニットorange pekoeのボーカルであるナガシマトモコさん。在学中にデビューを果たした同級生の存在は、エンターテインメントの世界に憧れていた私にとって大きな刺激になりましたね。ナガシマさんに限らず当時のゼミ生とは今でも連絡を取っており、みんながそれぞれのステージで活躍しています。卒業後もお互いを高め合える仲間に出会えたことは、人生の大きな財産です。

— お笑いの道から一転、小説家を志したきっかけを教えてください。

大学1年生の夏、エンターテインメントの世界に進みたいけど舞台芸術やお笑いではうまくいかず、自分には才能がないだと悩んでいました。そんな中、姉の薦めで一冊の本に出会います。史上初となる江戸川乱歩賞と直木賞のW受賞を果たした名作、藤原伊織の『テロリストのパラソル』です。何気なく読み始めたのですが、あまりの面白さにページをめくる手が止まらず、小説を一気に読み切るという初めての経験をするに。この本との出会いはそれほど衝撃的なものだったのです。インターネットが普及していない時代で、映像作品や舞台芸術を見るには時間などの制約が多くありました。一方で小説は自分のペースで読めて、大してお金もかかりません。こんなにすごいエンターテインメントはないぞと気づいたのです。また、創作に携わる人数が非常に少なく、ほとんど作家と編集のみで完結するという点も自分の性格に合っていると感じました。早速その日のうちに原稿用紙を買ってきて、執筆活動を始めました。

— 在学中から小説家を志しながらも、卒業後は神戸新聞社に就職されています。

小説を書き進める中で、自分の知識不足を痛感し、もっと多くのことを勉強したいと考えるように。「色々な現場に行けて勉強になる」という考えから新聞記者の道を選びました。神戸新聞社への内定をもらい一安心したのですが、入社後に待っていたのは、夜討ち朝駆けで警察回りをする日々。最初の頃は小説を書く余裕など全くなく、寝る時間を確保することだけで精一杯でした。その後も様々な部署を経験しながらなんとか筆を執り続け、文化・社会部での将棋の取材経験を活かして執筆した『盤上のアルファ』でデビュー。小説家を志してから12年ほどが経っていました。



普段は万年筆を愛用しているが、頭に浮かんだ小説に関するキーワードを書き出したり整理したりする過程では鉛筆を使用。鉛筆が紙に擦れる音で集中力が高まるのだとか。

長い下積みの上に、築き上げてきた小説家としてのキャリア。活字の力を信じて、読者に作品を届けていきたい

— 第7回山田風太郎賞を受賞するなど、大きな注目を集めた代表作『罪の声』についてお聞かせください。

関西学院大学に在学中、食堂のテラスで「グリコ・森永事件」\*関連の本を読んでいた時のことです。犯人グループの犯行声明に関西弁の未就学児の声が使われていたという事実を知り、「関西で自分と同世代ということは、テープの声の子どもとどこかですれ違ったりしていたかも」と関心を抱きました。この子どもの人生を物語にしてみたいという思いから生まれたのが『罪の声』です。学生時代に着想を得てからずっと温めていた渾身の企画だったので、書く時には相当な覚悟が必要でしたね。小説の中には、主人公の阿久津英士という記者が事件を追ってイギリスの各地を訪ねるシーンがあります。取材のために自費での英国横断を敢行するなど、限られた時間の中でも徹底的に行った取材資料をもとに執筆に臨みました。初版発行から1週間後に1万部の重版がかかった時に、これは自分の人生の節目になるかもしれないと感じたのを覚えています。記者時代に培った、とにかく取材に赴いて人の話を聞いてみるという現場主義の姿勢が大いに生かされた作品でした。  
\*1984～85年に大阪府・兵庫県などで起こった、食品会社を標的とする一連の企業脅迫事件。2000年にすべての事件の公訴時効が成立し、未解決事件となった。

— 今後の創作についての展望をお教えてください。

最新作の『朱色の化身』では最初にプロットを書かず、「ジェンダー」や「テクノロジー」といったキーワードだけを設定し、一斉に取材を開始。集まった情報からストーリーを作り上げるという手法を用いました。また、その創作過程をドキュメンタリーにするという新しい試みにも挑戦。活字離れが進み、映画ですら倍速で視聴する人が増えている中で、どうすれば小説に興味を持ってもらえるのかを常に考えています。作家は書くだけで、本を売ることが出版社に任せるのではなく、しっかりと読者に届けるという姿勢を持ち続けたいです。文字を読むと、そこから受けたインスピレーションで、自分の過去の経験を思い返したり、「自分だったらこうするな」ということを考えたりしますよね。受け身のメディアが溢れている世の中において、自分の世界を広げる余地のある活字は、非常に豊かなものだと感じます。皆さんに楽しんでもらえる作品を書くことで、そんな活字の魅力を伝えていきたいです。

## 関西学院大学の後輩へメッセージ

社会は、大したものではないのに立派に見える、もしくはとても大事なもののなのに軽視されているといった虚像に溢れています。こうした虚像を形成しているのが、先入観と依頼心です。「誰かがやってくれるだろう」と決めつけるのではなく、自ら行動してみよう。そして本をたくさん読んで知見を広げてください。これを積み重ねると、誰にも真似できないあなただけのものが見方が養われていきます。まだ何者にもなっていない学生時代は、独自の視点を生み出す絶好の機会です。「自分はどう生きたいのか」ということをきちんと考えながら、多くのことにチャレンジしてみてください。

## My History

— 私の成長年表 —

- 0歳 ● 兵庫県尼崎市に生まれる。
- 15～18歳 ● 高校生漫才師として活動するも、高校3年生の時に解散。
- 18歳 ● 関西学院大学社会学部に進学。
- 19歳 ● 藤原伊織の『テロリストのパラソル』を読んだことをきっかけに小説家を志し、執筆活動を始める。
- 22歳 ● 神戸新聞社に入社。
- 31歳 ● プロ棋士を目指す男を新聞記者の視点で描いた『盤上のアルファ』で第5回小説現代長編新人賞を受賞。作家デビューを果たす。
- 32歳 ● 神戸新聞社を退職。専業作家となる。
- 37歳 ● 昭和最大の未解決事件といわれる「グリコ・森永事件」をモチーフにした『罪の声』を発表。第7回山田風太郎賞受賞、2016年度週刊文春ミステリーベスト10国内部門第1位獲得など、大きな注目を集める。
- 39歳 ● 報道をテーマにした連作短編小説集『歪んだ波紋』で第40回吉川英治文学新人賞を受賞。
- 43歳 ● 最新作『朱色の化身』を発表。









つながり、ひろがる、  
関西学院。

関西学院の中にある  
様々なコミュニティ。  
そこには、共通の想いや志で  
つながる絆があります。

# K.G. × 探究

ハンズオン・ラーニング・プログラム(HoLP)は、国内で唯一、関西学院大学が実施している教育プログラム。社会に向き、あらゆるコト・モノ・考えに「触れる」中で、問うべき問いを自分で見つけ、探究することで「考える」力を鍛えます。

社会で人々と学び合った  
HoLPでの経験を糧に、  
平和と向き合う  
一大プロジェクトを推進。

学生

Sadaiwa Shizuku

# We Are KWANSEI!

## 異なる視点が新たな考えを生む、HoLPの学びで成長。

貞岩さんが関西学院大学へ入学された経緯を教えてください。

大学案内のパンフレットでHoLPを知ったことが進学のきっかけです。高校3年生の頃、大学の学びについてイメージができず進学を迷っていた私に、高校の先生方がたくさんの大学案内を用意してくれました。そこで見つけたのが、関西学院大学のHoLPです。特に興味を持ったのは、私の出身地である広島県を通して平和について考えるプログラム。地元で通っていた小学校・中学校・高校が、いずれも原爆の被害に遭った学校であったため、ずっと平和学習を受けてきました。その中で、ただ平和について教わるのではなく、自分自身で考えたいと思うように。HoLPでならその思いを叶えられると考えました。

これまでに多くのHoLPの科目を履修されていますが、特に印象に残っている学びを教えてください。

HoLPでは、地域に出て自分で設定したテーマについて探究する社会探究演習や、活動するフィールドから協働する企業・地域、活動内容までチームで自由に設定するハンズオン・アドバンスなどの科目を履修しました。興味深い科目ばかりでしたが、やはり入学前から興味があった平和に関する学び、「社会探究実習(広島・江田島平和FW)」での経験が印象に残っています。

私はこの実習に3回参加しているのですが、1回目は江田島を訪れ、老人会の方にお話を伺ったり、地元の高校生との合同授業に取り組んだりしました。さらに島内にある品覚寺では、寺宝の「津久茂帖」を拝読。江田島兵学校の学生たちが、明治時代から終戦までの間における自らの体験や心情を綴ったもので、重みのある言葉の

1つひとつに胸を打たれました。また、メンバーたちと夜中まで語り合ったことも貴重な思い出です。平和というテーマ1つをとっても、フェイクニュースから民主主義まで様々な切り口で語る人がいて、自分にはない多様な視点に触れられたことは、大きな刺激になりました。

実習の中で最も印象深かったのは、広島県立呉三津田高校の2年生と合同授業を行った時のことです。大学生が設定したテーマで意見交換をするという形式だったのですが、一人の高校生が「8月6日に黙とうをするけど、それは死者を悼むためだけのものではなく、これまでヒロシマという都市を作り上げてきた人たちに対して思いを馳せながら、自分たちが勇気をもらう時間だ。」と語ったのです。黙とうをそのように捉えられるのかと驚きました。他にもはっとさせられる意見が多々あり学び合うことの重要性を実感した出来事でした。

また、陸軍の駐屯地があった広島でも、海軍の



貞岩 しずく Sadaiwa Shizuku  
[関西学院大学 文学部 文化歴史学科 4年]

広島観音高等学校卒業。HoLPの履修をきっかけに、胎内被爆者の証言集を英語に翻訳するプロジェクトを立ち上げて活動中。

拠点となっていた呉でもなく、その間に位置する江田島の地で学ぶ意味を見出したことも、貴重な学びになりました。江田島は平和学習において一般的にはあまり注目されていない場所ですが、ここにも色濃く戦争の歴史は残っています。戦時中に生きた人々の日常を想い、今を生きる私たちと平和との関わりを見つめることで、かつては気づくことのなかった新しい考え方に触れることができたと感じています。

HoLPを履修してきた中でどのようなことを感じましたか。

社会について考える幅が広がっていくのがHoLPの魅力であるということです。今でも心に

残っているのが、木本浩一先生がおっしゃった「人は社会をなして生きつつある存在」という言葉。私たちは生まれた時から社会をなす存在であり、社会について考え続ける必要があるのではないかと問いかけられました。社会について考えるというのは、単に既存の課題について検討することではありません。課題の妥当性を疑い、その課題に取り組む必要性を考え、自分で問いを設定することがこれからの社会をなしていくのに欠かせないのだとHoLPを通じて考えるようになりました。

またHoLPでは、メンバー同士がお互いの本名や学年、所属学部を明かさず、クラスネームというHoLP内での名前呼び合っています。これは

フラットに意見を交換し、議論を深めていくために重要なことで、まさに「考える」ことそのものを鍛えるHoLPならではの特徴です。私は4年生なので他のメンバーは先輩がほとんどですが、鋭い意見に教えられることがたくさんあります。HoLPはメンバー同士がお互いに学びながら成長できる場だといえます。



\*\*\*\*\*

## 次世代である私たちが発信することで、平和について考えるきっかけを生み出す。

最近ではHoLPをきっかけに「胎内被爆者の証言集を英語に翻訳し、世界へ発信するプロジェクト」を立ち上げられました。経緯やプログラムの内容を教えてください。

きっかけは2020年度の「社会探究実習(広島・江田島平和FW)」です。コロナ禍によるオンラインでの実施だったため、先生が広島から中継する形でプログラムが進行しました。その中で出会ったのが胎内被爆者の証言集です。第一集と第二集に分かれていた証言集の、片方しか英訳されていなかったことを、当時はあまり気に留めませんでした。証言集のことを思い出したのは実習後、HoLPでの授業の枠を越えて、さらに学びを深められないかと考えていた時です。英訳されていない部分を学生の力で翻訳することで、平和や原爆について今まで関心を持っていなかった人たちが考えるきっかけになればという思いで立ち上げました。

プロジェクトはHoLPのメンバーに声を掛けたことを起点に、人づてに趣旨に賛同する人が集まり拡大。最終的には10大学45名が集まりました。コロナ禍である上に、全国各地にメンバーがいて集まることが難しかったため、活動は主にオンラインで実施。広島や平和に関する知識の有無や英語力を考慮し、ペアやグループを組んで補い合いながら翻訳を進めていくという仕組みや、進捗管理・情

報共有を行う体制を整備しました。翻訳の過程で壁となったのが地名、建物名、病名、原爆などに関する専門用語です。他の証言集の英訳や原爆関連の資料館が開催するセミナーを通じて知識を習得。さらに解釈や単語の選び方について議論を重ね、表現を磨いていきました。現在は一通りの翻訳が完了し、英訳のチェックを進めつつ、世界の誰もが無料で読める形での公開を計画しているところです。活動を振り返ると、メンバー一人ひとりが原爆や平和に対して真剣に向き合う翻訳の過程が、何よりも意味のあることだったと感じます。原爆のあまりの悲惨さに、考えたくない、知りたくないと思っている人も多いでしょう。若い世代の私たちがこうした歴史に目を背けず、胎内被爆者の想いを世界に発信することで、世界中で平和について考える人の輪が広がることを願っています。

将来の夢や目標を教えてください。

今後もHoLPで考えてきた平和というテーマに関わり続けたいと考えています。会社を立ち上げることも興味がありますし、証言集の翻訳について今回のプロジェクトで整備できた仕組みを運用してみたいとも考えています。色々な経験を積んで、最終的には故郷の広島県で平和に関する取り組みに携わってみたいです。



最後に関学生へメッセージをお願いします。

大学は単に専門的な知識を学んだり、スキルを身につけたりする場ではありません。「大学での学びとは何か」という部分から考えることが求められているのです。大学で学ぶにあたってまず必要なのが、知識活用の基盤となる考え続ける力だと思います。それを鍛えられるのがHoLPです。自分の考えに向き合い、課題が何であるかを考える。何かのために考えるのではなく、自分で意味を見出していく。なかなか成果は出ませんが、これを繰り返していくと手応えを感じられる瞬間がやって来ます。人に評価されるものをすべてで考えず、自分の中でこれだと思える手応えを感じられるよう、学びを探究してみてください。



# K.G. × 波及

SDGsを  
実践する  
アクションの  
輪を広げる。

授業内のフィールドスタディにおいてSDGsを学んだ生徒たちが、授業の枠を超えて活動を始めたことにより誕生したクラブ「SDGs for Children」。主に小学生を対象にSDGsの重要性を伝えるため、様々な場所でワークショップを重ねて次世代に向けた啓蒙活動に取り組んでいる。



中部部生

Fujimoto  
Rin

高等部生

Kijima  
Toko

高等部生

Matsuoka  
Rio

## SDGsを楽しく学び、身近に感じてもらえるワークショップを創り上げる。

まずSDGs for Childrenの活動について教えてください。

**木島** 「SDGs for Children」は主に小学生に向けてSDGsについて学ぶワークショップを行っています。毎回1つの社会課題を取り上げ、その現状や要因について私たちからレクチャーします。その後、児童たちがグループごとに分かれて課題に対する解決策についてディスカッションし、皆の前で発表するというケーススタディ型を取り入れています。

ただ一方的に「SDGsとは何か」を教えるだけでなく、SDGsの目標を分かりやすく噛み砕いた上で、世界で起きている社会課題の具体例を紹介します。そして、それらに対して自分たちができることはなんだろうと問いかけます。世界に山積する社会課題を知ることは、児童たちがSDGsを学ぶ目的を理解する一歩につながります。

**松岡** 取り扱うテーマは様々です。地球温暖化やLGBTQの課題、野良犬・野良猫を減らすには

どうすればいいかなど多岐にわたります。小学生の視点も加味しながら部員それぞれが興味のある社会課題を持ち寄り、個人で調べた情報を部内で共有しながら取り上げるテーマを決めていきます。小学校の他にも地域の交流センターや関西学院大学のホームカミングデー、本校の入試広報イベントでワークショップを行うことも。基本的に週1回、放課後に活動しています。

とても有意義な活動ですね。皆さんがこの活動に参加されたきっかけを教えてください。

**藤本** 子どもと接するのが好きだったので、学校の活動で何かできないかと考えていたところ「SDGs for Children」の活動に出会いました。頼れるカッコいい先輩方がいる、明るい部の雰囲気にも惹かれました。私は女性の教育に対して興味があり、アフガニスタンの女性を支援する「EJAA JAPAN CLUB」も兼部しています。

**木島** もともと社会科研究部というクラブに所属

しており、グローバルイシューについてディスカッションを行ったり、ボランティアをしたりといった活動をしていました。しかし、そのクラブが活動休止になったため、以前から関心のあった「SDGs for Children」に参加してみることに。子どもたちにSDGsを知る大切さを教え、早期からSDGs達成に向けて行動できるように促すという実践力の高い活動にとても魅力を感じました。コミュニケーションに苦手意識があったので、それを克服したいという気持ちもありました。

**松岡** 中部2年次に「SDGs for Children」のポスターを見たことがきっかけです。中部1年次からSDGsについて学んでいましたが、SDGsに向けた具体的なアクションをインターネットで調べても出てくるのは企業や団体の取り組みばかり。そんな中で、先輩方が小学生にSDGsを教えているということを知り、自分にもできることがありそうだと可能性を感じて参加を決めました。



木島 柊子 Kijima Toko  
[関西学院千里国際高等部 3年生]

SDGs for Children 副部長。高等部1年次から活動に参加。地球温暖化など環境問題に関心があり、絶滅危惧種を紹介する紙芝居を個人で制作中。



藤本 鈴 Fujimoto Rin  
[関西学院千里国際中等部 2年生]

中部2年次から活動に参加。部内では最年少メンバーながらも女性の教育やLGBTQ、プラスチック問題など様々な課題に興味を寄せる。



松岡 莉音 Matsuoka Rio  
[関西学院千里国際高等部 1年生]

中部2年次から活動に参加。特に関心のあるSDGは「つくる責任 つかう責任」。大量生産・大量消費に疑問を抱き、日常からものを大切に扱うことを心がけている。

小学生にSDGsを教える中で難しく感じる点がありますか。

**松岡** 小学生と言っても学年によって発達段階が全く異なるため、授業の響き方も違います。過去に犬や猫の殺処分をテーマにワークショップを行った時のことです。殺処分の現状に関するレクチャーの後、4年生は「そんなことが起こってるんだ。ショック…」という感情的な受け止め方であったのに対し、6年生は「どうすれば殺処分が減るんだろう」という建設的な発想でスムーズに議論へ進むことができました。学年ごとの理解力に合わせて授業を組み立てたり、スライドを作成したりするのが難しく、今後の課題として取り組みたいと考えています。

**木島** 楽しく学んで興味を持ってもらうことが大切なので、ミニゲームやクイズ形式を取り入れて児童を巻き込みながら授業を進めるようにしています。地球温暖化を取り上げた回では、その影響で発生した山火事で行き場を失ったコアラに着目。山火事が起こる原因や焼死してしまったコアラの数などをクイズ形式でレクチャーした後「コアラを守るのがあなたたち地球防衛隊のミッションだ!」と盛り上げてディスカッションへつなげました。「ミッション」という言葉はゲーム感覚もあり小学生たちの心を掴むようです。

**藤本** 授業の準備は毎回大変ですが、小学生に



とって充実した時間になるように部員全員で協力して進めています。ワークショップで訪問する小学校の先生と事前にオンラインで打合せを行い不明点を1つずつクリアにしたり、通常の活動時間外に部員同士で連絡を取り合って内容を詰めることもありました。

\*\*\*\*\*

## 「明日から自分ができること」を見出す一歩を後押ししたい。

活動のやりがいや、今後挑戦したいことを教えてください。

**松岡** 授業の最後に回収するアンケートで、ある児童が「SDGsは自分には関係がない、自分一人が何かをしても世界は変わらない。そう思っていたけど、ワークショップを体験して考え方が変わった」と書いてくれていて。かつて自分も同じように感じていたので、私たちの授業を受けてSDGsを自分事として捉えてくれたこと、「自分にもできることがある」と感じてくれたことに大きなやりがいを感じました。

**藤本** 授業を組み立てる中でSDGsの学びを深められるのが魅力ですね。小学生の好奇心に受けられるよう、もっと知識を増やしたいという気持ちも自然と強くなります。子どもたちの思考は自由で積極的。教えるだけでなく相手から学ぶこともたくさんある活動だと感じています。直近で行った小学6年生のワークショップで、終

了後に「私も、私より若い世代にSDGsを教えていきたい」と言ってくれた児童がいました。私たちの活動が、その子にとってのインスピレーションになったことに感動と達成感を覚えました。

**木島** 私もその言葉はとても印象に残っています。SDGsは私たちだけの力では達成できないので、世代を超えて多くの人に知識を広めて自分事にしてもらうことが重要です。私たちのワークショップのゴールは、社会課題に対する解決策を見つけるだけでなく、児童一人ひとりが「明日から自分ができること」を見出すことです。小さなことでも今すぐに始められることがたくさんある。その気付きがアクションの輪へ広がっていくことに確かな手ごたえを感じながら、これからも意欲的に活動していきたいです。今後は、ワークショップ参加者の対象年齢の幅を広げたり、学外の団体や専門の方からお話を聞いて知識を深め、それを授業に反映することにも挑戦してみたいです。





# K.G. × 飛躍

西宮聖和キャンパスにある聖和短期大学と関西学院大学教育学部。保育と教育、それぞれの知識と技能の修得を目指す学生のために編入学制度があり、試験に合格すれば3年次から関西学院大学に編入することができる。

「子ども」を探究する学びが、  
新たな発見や出会いにつながっていく。

学生  
Nakamoto  
Kirara



## 子どもに対する思いを再認識できた聖和短期大学での2年間。

保育の道を志した経緯を教えてください。

私は4人兄弟の長女で末っ子とは年齢が離れていたため、日常的に小さい子どもと関わる環境で育ちました。兄弟と一緒に遊んだりお世話をしたりするなかで、「保育は自分に合っている。将来の仕事にしたい!」という気持ちが芽生え、聖和短期大学に入学しました。

聖和短期大学における2年間はどのようなものでしたか。中元さんが感じた魅力と共に教えてください。

聖和短期大学は創立約140年の歴史をもつ保育者養成のパイオニア。先生方は保育所や幼稚園だけでなく、児童養護施設や乳児院、障がい児施設など多様な現場で活躍されてきた方々なので、経験談をお聞きするたびに自分の中の子どものイメージが広がっていきました。また、経験に

基づく学びを学生たちが分かりやすいように具体的に指導して下さるので、実習時に実践しやすかったですね。

私は幼い頃から保育の道を志していたものの、その理由は「子どもが好きだから」というぼんやりしたものでした。しかし、様々な講義や実習を通して、子どもが大人は持ち合わせない驚くべき可能性を秘めている存在だと実感するようになり、自身の保育観が更新されると同時に学びに対する姿勢も変わりました。もともと人前に出たり話したりするのは苦手なタイプでしたが、現場での実習やグループワークを重ねるたびに、自然と自分の意見を述べる機会が増え、落ち着いて話せるようになったことにも成長を感じます。

また、学生への支援が手厚いのも聖和短期大学の魅力の一つ。実習時は先生たちが学生一人ひとりに対して丁寧にアドバイスやフィードバックをしてくださいます。そのおかげで、事前にしっかり

心構えをした上で実習に取り組み、実習後は次につなげるための振り返りを効果的に行うことができました。

西宮聖和キャンパスには関西学院幼稚園と聖和乳幼児保育センターが併設されています。実習における連携に加えて園長先生が聖和短期大学に来て講演して下さることもあり、系列校ならではのつながりや強みを感じましたね。



中元 きらら Nakamoto Kirara

[関西学院大学 教育学部 教育学科 初等教育コース 3年生]

聖和短期大学へ入学後、保育について学びを深める過程で子どもの児童期に興味を持つように。編入学試験を受験し、2022年度から関西学院大学教育学部で学ぶ。

\*\*\*\*\*

## 興味のは乳幼児期から児童期へ。 子どもと共に成長できる保育者をめざして。

充実した2年間を過ごされたのですね。教育学部への編入学を決めたきっかけを教えてください。

聖和短期大学の2年間で、自分の好きなことや関心のあることを学び、深化させる楽しさに気がきました。入学当初は卒業と共に就職することを考えていましたが、保育の知識や技能をさらに身につけて子どもと関わりたいと思うように。短期大学では乳幼児期を中心に学んでいましたが、子どもの成長はその後も続いていきますよね。保育者が児童期についても修得し、子どもの育ちを長い目で捉えて関わることができれば、もっと充実した保育や教育が提供できるはず。保育者として自分もより豊かになれるイメージが湧き、教育学部への編入を決意しました。準備を始めたのは2年生の春学期頃です。

編入学試験で苦労されたことや、それをどう乗り越えたか教えてください。

編入試験の時期は、周りの友人たちが就職活動を経て内定を獲得していく中、進路が決まっていない自分の状況に焦りと不安を感じる日々でした。しかし、教育学部で学びを深めるという目標を叶えるために、自分が今まで聖和短期大学で学び、実践してきたことを丁寧に振り返るなど自己分析に集中。試験では面接もあるので、編入学への思いがしっかり伝わるように対策しました。

聖和短期大学では編入学を希望する学生に向けた説明会が開催されています。当時、在籍していたゼミの先生にも自身の興味・関心のある分野について相談し、紹介いただくなど、編入後のイメージを事前に少し掴むことができたのも良かったです。

また、進路選択に対して家族が応援してくれたのも心強かったですね。特に母は「学生時代は

貴重な時間。もっと学びたいという気持ちがあって、せっかく編入学という制度があるならやってみなさい。」と背中を押してくれました。

様々なサポートがあって無事合格されたのですね。教育学部編入後の学びについて教えてください。

晴れて教育学部に編入してからは、環境がガラリと変わり新しい出会いの連続。大学は短期大学に比べて学生数が圧倒的に多いため、授業ごとに関わる人たちが異なります。編入学のため1・2年生の科目を履修することもしばしば。学年を超えた交流もまた、良い刺激になっています。所属するゼミでは発達心理について学んでいます。多様性を大切にせるゼミなので、取り扱うテーマも多種多様。なかでも印象的だったのは、Visual Difference(見た目の違い)を社会でどう受け入れていくのかというテーマです。先天的にあざがある子どもや、事故で火傷を負ってしまった子どもに対して、周囲の人々が理由もなく「かわいそう」だと感じるのはどうなのかという問題提起から始まり、教育の場で先生がそれをどのように伝えるのが大事なかを議論しました。同じ分野に興味を持つ仲間たちと、多様なテーマについて意見を交わしながら自分の考えを深めることは、編入したからこそ経験できる学びだと感じます。

聖和短期大学では「子どもの社会性や道徳性の育ち」をテーマに卒業論文を執筆し、子どもの対人関係が遊びの中で形成されていくことがわかってきたので、教育学部ではそれをもう少し深掘りして研究を進めたいと考えています。



聖和短期大学のオープンキャンパススタッフとしても活躍

中元さんが考える大学生生活の魅力や、今後の目標を教えてください。

編入後は新しく学童のアルバイトを始めました。小学生と関わる中での様々な発見が、学部の学びにつながる面白さがあります。聖和短期大学在学中から参加していたオープンキャンパススタッフも継続中。編入学について質問してくれる受験生も結構いるので、自分の体験談を進路選択に役立ててもらえることにやりがいを感じています。

大学生生活は、興味のあることにどんどんチャレンジできる貴重な時間。学生の皆さんには自分の好きなことに取り組みながら、たくさんの人との出会いやつながりを経験してほしいです。日々の授業や実習を通して、理想の保育士像が少しずつ見えてきました。聖和短期大学と教育学部、4年間の学びを通して専門的な知識や技能はもちろん、多面的な考え方を身につけて自分自身の人間性や感性をより豊かなものにしていきたいですね。子ども一人ひとりを尊重し、子どもと共に成長していけるような保育者をめざして、これからも大学生生活も楽しみながら学びを深めていきます。



西部ガスホールディングスで活躍する

3人の関西学院大学卒業生。

現在のお仕事や学生時代の思い出、

九州の地でも続く関学生の絆についてお聞きしました。

小野 葵さん

文学部 2022年3月卒業  
[事業開発部]  
入社1年目

立元 彩さん

総合政策学部 2016年3月卒業  
[人財戦略部]  
入社7年目

松尾 聡大さん

社会学部 2015年3月卒業  
[総務部]  
入社8年目

私も **K.G.** です  
**IN THE COMPANY**

》 西部ガスホールディングス株式会社

同窓の絆を糧に、  
思いやりの精神で  
地域の暮らしを支える。

九州への思いと温かい社風が  
入社決め手に。

**小野**：福岡県の高校を卒業し、関西学院大学へ進学。関西で学生生活を送る中で、地元への愛着や家族の大切さを再認識し、九州で就職したいと考えるようになりました。西部ガスに惹かれたのは、ガスの供給事業を中心に幅広い事業を通じて、九州の人々の力になれるからです。

**松尾**：私も地元で貢献したいと考えており、出身地である福岡県へのUターン就職を希望していました。福岡県に本社を構えるいくつかの企業の選考に参加し、社員の方々の温かさに触れ、一番しっくりきたのが西部ガスです。

**立元**：お二人と同じく、九州に貢献できることや社員の方々の人柄に惹かれて入社を決めました。実際に働いていても、会社全体として地元愛が強く、素敵な人柄を持った方が多いと感じます。また、私は人に頼られることにやりがいを感じるため、お客さまに寄り添って生活を支える西部ガスの仕事は自分にぴったりだと思いました。

地域の人を想い、  
快適な暮らしを届ける。

**小野**：現在はフードロス削減を目的としたECサイト「ecoto」の運営やPR活動、ドローン事業に携わっています。印象的だった業務は、入社後すぐに参加させてもらった温浴施設のプロジェクトです。集客力に課題があったため、若い世代の来店が少ない点に着目し、学割プランを企画。無事に採用されて、達成感を得られました。同期の話聞いていても、それぞれ裁量の大きな仕事を任されており、刺激を受けます。

**立元**：西部ガスには、社歴の浅いうちから裁量権が与えられ、仕事を任せてもらえる環境があ



ると感じます。この社風が、小野さんのような若手社員のやりがいにつながっていることは素晴らしいことですね。

私は2022年の春に人財戦略部に配属される前は、佐世保地区でハウスメーカーや家を建てるお客さまにガス設備を活用した快適な暮らしをご提案していました。心に残っているのは異動が決まった時のことです。「立元さんがいたからガスにしていたのにお客さまが別れを惜しんでくださり、頼りにしていただけました。強く実感しました。現在は、人財戦略部で主に新卒採用に関わる業務を担当しています。採用イベントに参加した学生が私と話したことをきっかけに西部ガスに興味を持ち、再びイベントに参加してくれる時は非常に嬉しいです。

**松尾**：立元さんは、私たちの入社を決め手となった先輩社員の方々に、温かい人柄を持った西部ガスのモデルのような人なので、新卒採用の担当者に抜擢されたことには大いに領けます。私は入社3年目までは熊本地区で営業を行っていました。営業部時代で特に印象的だったのは、2016年に熊本地震が発生した時のこと。担当地域が被災し、お客さまの家をまわって、ガスの復旧に尽力しました。体力的にも厳しく、辛い業務でしたが、復旧の際には「日常の平和を守ってくれてありがとう」など温かいお言葉をいただき、地域の皆さんに貢献できていることを改めて深く感じました。4年目からは総務部で管財業務を担当しています。2021年にホールディングス化した際には、事業体制が変わり、体験したことのない業務ばかりで苦労しましたが、貴重な経験となりました。特にやりがいを感じているのは自社オフィスの休憩室の整備です。本社ビルは古く、殺風景で過ごしづらかったのですが、改修してカフェスペースなどを設け、快適に働ける環境を整えました。そこで歓談する社員を見たり、ミーティングからアイデアが生まれたという話を聞いたりすると役に立てていることを実感できます。宿泊研修を行う施設の竣工にも設計から携わりました。新入社員が研修に集中し、絆を深められるよう、設計士さんと相談を重ねて作り上げた施設で、こだわりが詰まっています。

**小野**：松尾さんが宿泊研修所の設計に携わっておられたのですね。本当に過ごしやすい、学ぶのに最適な環境でした。おかげさまで同期と仲を深めることができ、今ではかけがえのない存在になっています。今後入ってくる後輩社員の方々にも、あの研修施設で私たちと同じように素敵な経験を積んでほしいです。

**松尾**：実際に研修で良い時間を過ごせたという話が聞け、非常に嬉しいです。思いを込めて取り組んだ甲斐がありました。

九州の地においても  
広がり、続いていく  
関学生のつながり。

**小野**：私は在学中、サークルの先輩が立ち上げた古着店を共同運営していました。実際に店舗に立ちつつ、集客を目的としたマーケティングやリサーチを担当。PR活動や企画の面白さを知ることができました。この経験から学んだことは現在の業務にも役立っています。

**松尾**：私は体育会硬式野球部に所属していたため、野球一色の学生時代を過ごしました。レベルが高く部員も約200名いたため競争が激

しく、悔しい思いもたくさんしましたが、努力し続けたことで鍛えられたと感じています。仕事で思い通りにいかないことがあった際にも、折れることなく一生懸命取り組むことができていたのは、この経験があったおかげです。また、現在も様々な場所で頑張る野球部の仲間が存在が励みになっています。

**立元**：多くの人と出会えるのは関学の良さだと思います。私は三田キャンパスに通っていたのですが、学部関係なく皆がお互いを知っているような環境でした。そのつながりは卒業後も続いていて、新型コロナウイルスが流行する前には全国各地から関西に集まってBBQを行ったりもしていました。仕事の話をするのもよくあり、その度に刺激を受けます。こうしたつながりは一生ものです。また、社会に出てから同窓生とつながることも多く、関学ならではの人脈の広がりを感じます。

**小野**：私が立元さんに声をかけさせていただいたのも、教育系の先輩から関学出身の先輩がいると伺ったことがきっかけでした。それ以来仲良くさせていただいており、話しかけて良かったと感じています。

**立元**：お母さんのような気持ちで微笑ましく見守らせてもらっています(笑)。私が松尾さんと親しくなったきっかけも関学出身だったことでした。

**松尾**：立元さんとは営業部にいた頃からの付き合いです。熊本地区と佐世保地区は交流があり、関学出身であることからよく話すようになりました。佐世保地区に同期がいたこともあり、立元さんのお話を耳にするのも多かったです。

**立元**：松尾さんは入社当初から私を気にかけてくださっていて、頼りになるお兄さんのような存在です。何か困ったことがあると、松尾さんに相談させていただいています。本社に異動してからは佐世保でお世話になった先輩も交えて3人でランチに行ったりもしました。西部ガスには私たち以外にも関学出身者がいますが、フレンドリーで親しみやすい方が多いと感じます。10年ほど入社歴が離れている方でも気さくに声をかけてくださり、嬉しい限りです。



Memories of K.G.



Ono Aoi

周囲との関わり合いの中で  
成長を重ねていく。

**小野**：私は今、新入社員として大切にしている、挨拶などの基本的な行いを丁寧にすることや、周りから吸収し続ける姿勢を忘れないようにしたいです。吸収することが大切なのは学生時代においても同様だと思うので、関学生の皆さんも意識してみてください。関学は学部も多く、広い知見を得られる場です。積極的にいろいろな場で活躍する人の話を聞き、周囲の人や大学の力を借りながら、納得のいく道へ進んでほしいと思います。

**立元**：この春に異動し、今は全てが新鮮に感じています。この気持ちを持ち続け、視野を広げ人間力を高めていきたいです。また、後輩の育成に努めながら、その過程で見えてきた気づき

を活かして、自分自身もレベルアップしていきたいです。関学生の皆さんには人との縁を大切にしてほしいです。関学で出会えた人は、皆さんにとって宝物になるでしょう。仲間と共に学生生活を思い切り楽しみ、時には悩み、ずっと大切にしたいと思える関係を築いていってください。

**松尾**：入社した際、先輩の姿を見て学ぶことが多くありました。今後は私が後輩の手本になりたいです。また、周囲に刺激を与えられる存在でもありたいと思っています。学生時代は思い切りチャレンジできる貴重な時間です。全力で何かに取り組んだ経験が、就職先など次のステージで自らの支えになると思います。後悔のないよう、学生生活を楽しんでください。



Memories of K.G.



Tatsumoto Aya



Matsuo Toshihiro

Memories of K.G.





# Career@KG



## 就職活動の「今」

### ■ 就職活動のスケジュール

#### 政府の指針

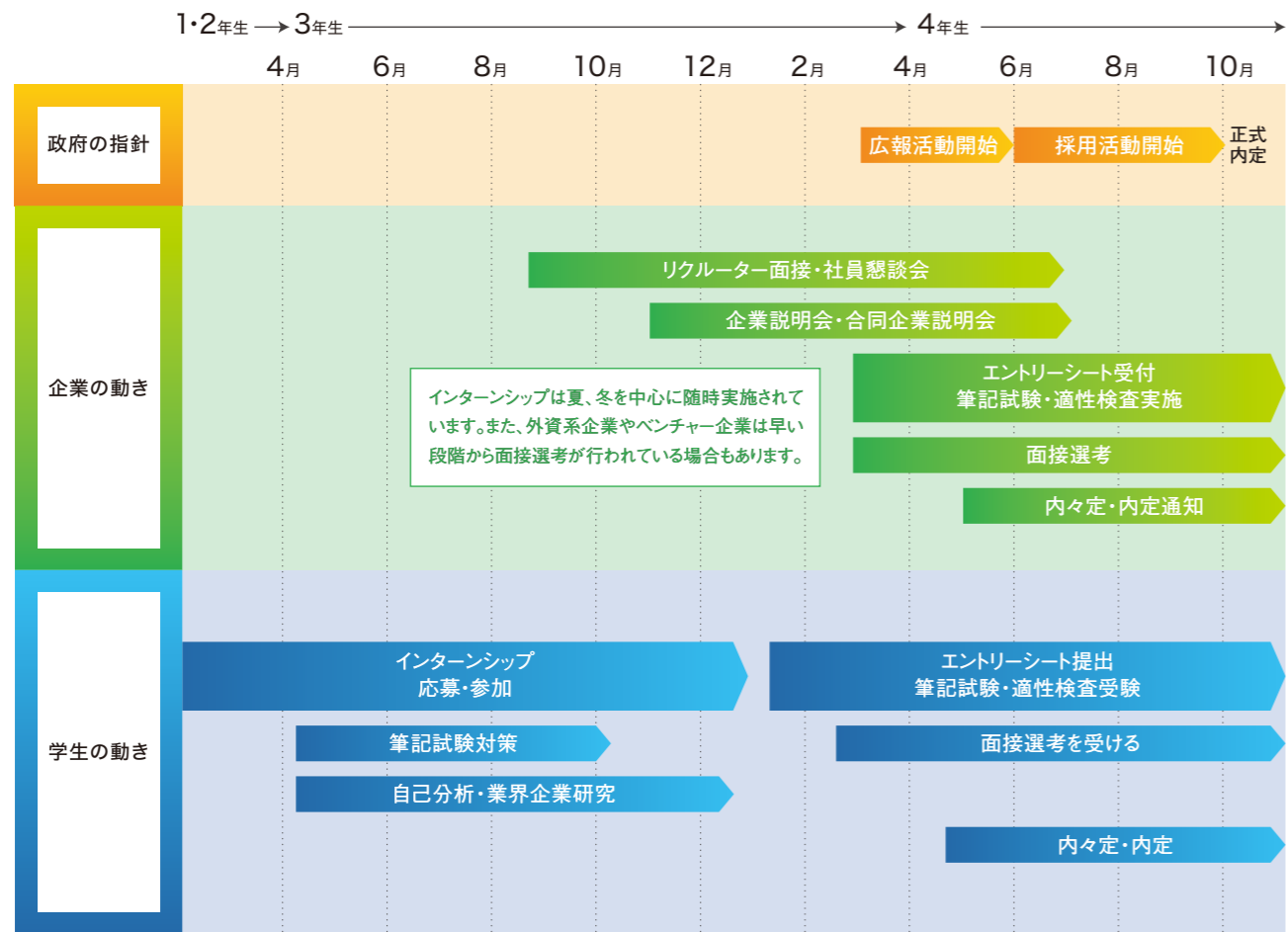
- 3年生の3月から広報活動開始 / 4年生の6月から採用選考活動開始

#### 実態

- 3年生の夏ごろからインターンシップに参加（そのまま選考・内々定 / 内定するケースも存在）
- 3年生の秋ごろから説明会（企業によっては年内から随時選考開始）

全ての企業が政府の指針に沿った採用活動をしている訳ではなく、各社の選考が多様化・複雑化しているため、対応に困らないよう、早めの準備が必要となります。筆記試験対策や書類選考対策、また面接対策など、就職活動の本番に備えることも大事ですが、その前段階の「自己分析」や「業界・企業研究」が極めて重要です。自己分析も業界・企業研究も、ガイダンスやセミナーを実施しており、動画での視聴も可能です。

次のページでもお伝えしますが、選考の多様化・複雑化の流れの中で、インターンシップの重要性が増えています。最近では、インターンシップに参加する低年次の学生も増えています。現場での体験を通して仕事内容を把握したり、様々な分野で働く社会人の方とのコミュニケーションを図る経験が、今後の学生生活や就職活動の充実度にも大きく関わってきます。

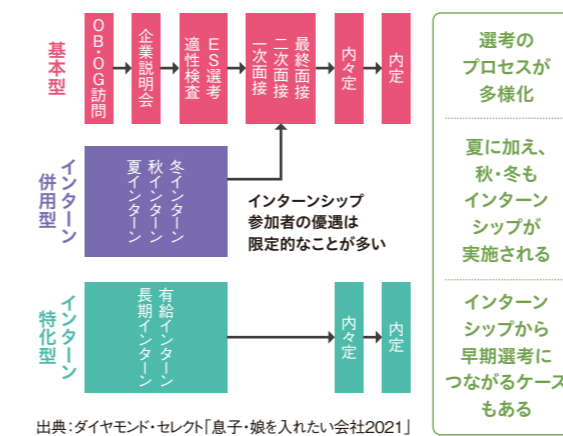


### ■ インターンシップの重要性

採用フローが複雑化する中で、インターンシップの重要性が増している傾向にあります。下図にある通り、インターンシップを経由した選考ルートを経験している企業も増加しています。インターンシップに参加しないと内定を得られないわけではありませんが、内定を得るための大切な接点になっています。オンライン化により、居住地を問わず参加しやすくなっているため、参加の有無を志望度の指標とする企業もあります。インターンシップを通して得た経験を、業界・企業・職種への理解や自己分析につなげることも可能です。興味のある企業が実施するインターンシップには積極的に挑戦することを推奨します。

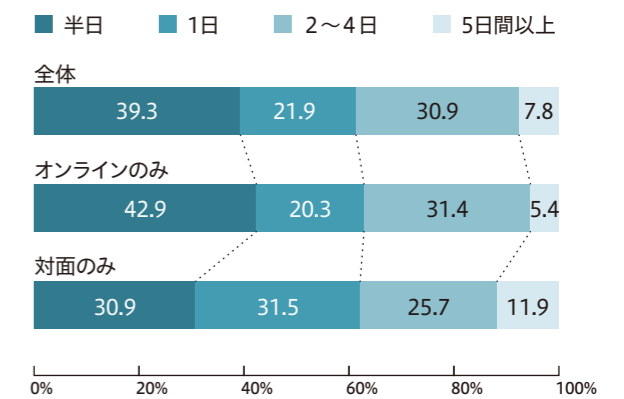
#### インターンシップと採用プロセス

多様化、分散化する企業の選考採用プロセス



出典:ダイヤモンド・セレクト「息子・娘を入れたい会社2021」

#### インターンシップ参加日数(形式別)



※「全体」には「オンラインと対面の組み合わせ」を含む  
 出典:株式会社ディスコ キャリタスリサーチ 2023年卒 インターンシップ特別調査 (キャリアス就活2023学生モニター調査結果(2022年4月発行))

### ■ 就職活動のルールが変更になっ

新聞報道等でも話題になりましたが、2025年3月卒(現在の2年生)から、インターンシップに参加した学生の情報を採用活動で活用してもよい、という政府の考え方が示されました。ただし、このニュースは注意が必要です。

まず、政府の考え方では、インターンシップが4つのタイプに分けて示されました。このうち、参加した学生の情報を採用活動で活用してもよいのは「タイプ3」と「タイプ4」のみです。それぞれ、いわゆる政府指針に則り「3年生の3月以降は広報活動に使ってよい、4年生の6月以降は採用活動に使ってよい」という時期的な条件が付いています。

次に、これはあくまでも「政府の示した基本的な考え方」であって、全ての企業がこの考え方に沿ってインターンシップを実施するわけではないことは押さえておく必要があります。前ページにもある通り、すでにインターンシップ経由の早期選考等で採用活動に活用されている実態があります。自分が志望する企業がどのようなインターンシップを実施するのか、それが選考につながっていくのか、しっかり見極めることが重要です。

タイプ	名称	特徴	採用活動への活用
1	オープン・カンパニー	超短期(1日)で、就業体験はなし。主に企業や業界のPR、説明。	×
2	キャリア教育	主に企業がCSRとして実施するプログラムや大学の産学協働プログラムなど。就業体験は任意。	×
3	汎用型能力・専門活用型インターンシップ	5日以上で、そのうち半分を超える日数は就業体験を必ず行う。学部3~4年生の長期休暇期間に実施。	○ (時期的な条件付)
4	高度専門型インターンシップ(試行)	大学と企業が連携して実施する「ジョブ型研究インターンシップ」「高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ」。就業体験は必須。	○ (時期的な条件付)



## 「キャリアの関学」を支える キャリアセンターの手厚いサポート

### ■充実のキャリア教育

関西学院大学では、キャリア教育の正課科目と就職支援をキャリアセンターがワンストップで提供しており、シームレスなサポートを実現しています。



科目名	授業形態(予定)	授業概要
KGキャリア入門	オンデマンド	入学後の学生生活をどのように過ごすかを考えるきっかけとなるよう、各分野で活躍される様々な職業の卒業生から大学生活や現在の仕事についてお話を伺う、キャリア教育の基礎となる科目。
ライフデザインと仕事	対面	企業・団体等で勤務されている方に、ご自身の職務・キャリアをお話いただき、社会で果たすべき役割や存在意義、生涯を通じたキャリア形成について理解を深めることを目的とした科目。
キャリアゼミA	対面	大学生生活の意義、今後のキャリアについての講義を踏まえ、他学部生とのビジネスプラン考案のグループワークを通じて、思考力・コミュニケーション力・行動力の向上を目指す科目。
霞が関セミナー	対面 合宿形式	国家公務員の役割・業務について理解を深める科目。中央行政に関する講義や、各省の採用担当者による業務内容、求める人材像、採用試験についての説明会、本学の卒業生官僚とのセッションを行う。



### ■「ここまでやる！」関学の就職支援

キャリアセンターでは、多岐にわたるプログラムを実施していますが、「個の支援」を最も大切にしています。学生によって、動きたいと思うタイミングはそれぞれで、自分の志向や強みに気づく瞬間は様々です。一人一人の考え方、タイミングによりそう、きめこまやかな支援を心掛けて全ての職員が対応に当たっています。

### 多彩なプログラム

●これらは一例で、他にも多くのプログラムを実施しています。

#### 就活の基礎から 応用まですべてを学べる！ キャリアガイダンス

学年や専攻に合わせて、キャリアガイダンスを年間に複数回開催しています。就職活動の基礎から、インターンシップへの参加方法、応募書類の書き方、面接・筆記試験対策といった実践段階まで丁寧に解説しています。今年3月に学部2年生向けに実施したキャリアガイダンスには、オンデマンド配信の動画視聴も含めるとほぼ全ての学生が参加しました。



#### 憧れの企業・団体の先輩に 直接相談できる！ 先輩訪問会

コロナ禍以降、先輩や卒業生との接点が減ってしまったという学生の声に応えて、昨年より新設したイベントです。本学卒業生との相談会を、オンラインで実施しています。昨年は20を超える企業・団体の卒業生にご登壇いただき、のべ700人の学生が参加しました。また、就職活動を終えた現役学生との相談会も、対面やオンラインで実施しています。



#### 関学生を採用したい 企業に出会える！ 学内企業セミナー

本学学生の採用に積極的な1,000社以上の企業・団体が参加するセミナーを開催しています。毎年、数多くの学生がこのセミナーを内定獲得につなげています。



#### 就活初心者でも安心！ 就活のきほんシリーズ

自己PRや筆記試験、志望動機にグループディスカッションなど、就活で準備が必要な内容について、ワーク形式を中心とした講座を開催しています。参加者同士の交流を図ることで、キャリアガイダンスで学んだ知識を、学生一人一人が身につけることを目的としています。



#### 聖和キャンパス 未来塾

教員・保育士を目指す教育学部生が夢を実現し現場で活躍できるように、キャリア支援プログラムとして「未来塾」を実施しています。1～2年次には資質と能力を磨くことを目的に、3年次からは採用試験に合格できる力を身につけられるような実践的なプログラムを提供しています。



#### 充実した理系学生支援！ 神戸三田キャンパス(KSC) におけるキャリア・サポート

理系学部生対象の「進路なんでも相談会」や理系大学院生向け「研究内容棚卸講座」を実施し、きめこまやかなキャリア・サポートを実施しています。さらに、理系学生と企業の新たな接点として開設された「BiZCAFE」や会員企業によるワークショップ「BiZCLASS」等、先進的なキャリア形成支援体制が構築されています。





# K.G. 最前線

## 留学・国際教育編

国際教育・協力センター(CIEC)が提供する全学向けの国際教育について、コロナ禍における派遣状況、渡航に向けた準備、その他留学や国際交流に関する情報収集についてご紹介します。

### 1 コロナ禍の派遣状況

各国の入国制限措置・行動制限の情報、外務省が発出する感染症危険情報・海外安全情報、派遣先機関の受け入れ再開の有無等を考慮し、ワクチン接種の完了などを条件に、渡航時期にあわせてその都度、大学として渡航可否を判断しています。

(派遣者数は8月1日現在の予定)

#### 短期留学(22年度夏季の派遣)

短期留学についてはコロナ禍以降しばらく派遣を見送っていましたが、22年度夏季(8～9月)に一部プログラムにおいて派遣を再開しました。全面再開ではありませんが、今後の短期留学においても順次派遣を予定しています。

対象プログラム	渡航時期	派遣者数
<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語研修</li> <li>短期海外インターンシップ</li> <li>海外フィールドワーク</li> </ul>	22年8～9月	203名

このほか、学部等が提供するプログラムで約80名の派遣を予定しています。

#### 中長期留学(22年度春学期、秋学期の派遣)

中長期留学については、21年度秋学期より一定の条件下で再開しています。22年度秋学期以降の派遣についても一定条件下での派遣を継続予定です。

対象プログラム	渡航時期	派遣者数
交換留学・長期留学	22年度春派遣	27名
	22年度秋派遣	124名
中期留学	22年度春派遣	96名
	22年度秋派遣	183名
国際社会貢献活動	22年度春派遣	4名
	22年度秋派遣	12名
国連ユースボランティア	22年度秋派遣	4名

### 2 オンラインプログラム

コロナ禍をきっかけに、海外に渡航せず日本国内で参加できるオンライン留学プログラムも複数開発しました。渡航型の留学プログラムに加え、オンラインプログラムの提供も続けています。

プログラム名	内容	ポイント
外国語研修	本学の海外協定大学が実施する数週間から1ヶ月程度の外国語集中学習のプログラムをオンラインで受講する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オンラインであっても英語運用能力(特にスピーキング)の有意な伸びが検証されている。</li> <li>●集中して外国語能力を伸ばしたい方におすすめ。</li> </ul>
グローバルPBL*	企業などから提示される課題やテーマについて、海外の学生との議論や調査、分析を通じて、理解を深めるプログラム。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オンラインで海外の学生と協働する経験を積むことができ、実践的な学びの機会を得ることができる。</li> <li>●外国語を「学ぶ」のではなく「使う」ため、実践的な外国語能力向上を目指す方におすすめ。</li> </ul>

\*Project Based Learningの略称。課題解決型の学習プログラム。

#### オンラインプログラムのメリット

- 1 渡航プログラムより安価に参加できる(プログラム費用のみ。奨学金(2万円)も支給。)
- 2 時間を有効活用できる(アルバイトや部活動との両立がしやすい)
- 3 治安の心配が不要(自宅から参加できる)

### 3 学内でできる国際交流

コロナ禍で受入が中止となっていました、2022年度秋学期からは200名近い交換学生が来日予定となっています。交換学生とともに学ぶ授業やキャンパスでの国際交流などのチャンスも今後どんどん増えていきますので、ぜひ積極的にCIEC開催のイベントや各種留学生とのパートナー制度にお申し込みください!

#### Pick-Up 留学生バディ制度「KGバディーズ」

世界各国から受け入れる留学生にとっての、関西学院大学でのバディ(友人)になり、異文化交流を行いながら、留学生の新生活や日本語学習をサポートする制度です。1学期または1年間、日本語と現代日本について勉強するため海外協定大学から来日する「交換学生」と、4年間学部部に所属し、学位取得を目指す「正規留学生」の留学生全員にバディを手配。年間およそ200～300名の日本人学生が参加しています。

こんな人におすすめ

- 日本にしながら密度の濃い国際交流がしたい!
- 留学生と友達になりたい!
- 日本語学習支援に興味がある!
- 留学生とお互いの文化について話してみたい!



#### Pick-Up 留学生や海外の学生と共に学ぶ科目

##### 多文化共修科目

海外からの留学生とともに日本語で受講し、身近なテーマについてディスカッションやディベートなどを通じて協働学習を行います。これにより、異文化理解力と自文化の発信力を身につけ、グローバル社会に通用する能力を養うことが可能です。



##### 総合日本学習科目

交換留学制度で海外協定大学から半年～1年ほど来日する留学生を対象に、日本に関する経済や政治、文化や歴史などを英語で共に学ぶ科目です。留学生と一緒に机を並べて授業を受けることができるので、英語力を高められます。留学を終えた学生にも、留学する機会がない学生にもおすすめです。



##### 海外とのオンライン協働学習(COIL\*)

コロナ禍において国内にいながら海外の学生とICTツールなどを用いてともに学ぶCOIL型科目を2020年度秋学期よりスタートしています!日本にいながら海外のトップレベルの学生とともに授業を受けることで疑似留学体験が可能です。



\*COIL=Collaborative Online International Learningの略。オンラインで協働して行う国際教育のこと。

### 4 情報収集

関西学院大学には、留学期間や行先、目的が異なる様々なタイプの留学があります。少しでも留学に興味・関心がある方は、CIECまでぜひお問い合わせください。

#### ▶ 国際教育・協力センター(CIEC)とは?

CIECでは、関西学院大学が全学に向けて提供する留学プログラムや国際交流、留学準備、英語で学べる科目や交流イベントなど、様々な情報を集約して発信しています。「どの情報にアクセスすれば良いかわからない」という方は、まずお手元のパソコンまたはスマートフォンからCIECのWebサイトをご覧ください。また、留学や国際交流について疑問・質問などがある場合は、お電話をいただくか、事務室までぜひお越しください。

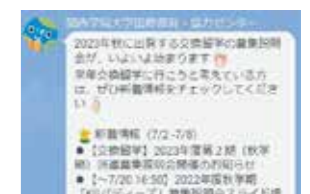
	西宮上ヶ原キャンパス	神戸三田キャンパス	Webサイト
場所	G号館1階	8号館1階	
開室時間*	8:50-11:30 / 12:30-16:50	9:00-11:30 / 12:30-17:00	
電話番号	0798-54-6115	079-565-7625	



\*土日祝は開室していません。

#### ▶ CIEC LINE

コロナ禍で更新される情報や各種イベント及び募集説明会等の最新情報をお届けするため、2022年3月より新たにLINEでの情報発信も開始しました。毎週金曜日の13:00に、①CIECが直近1週間に更新した最新情報と②CIECスタッフが厳選したオーストピック、以上2本立てで配信しています。開設からわずか1か月で登録者は1000人を超え、在学生だけでなく保証人の方にもご登録いただいています。ぜひこの機会にご登録いただき、最新の情報をご覧ください。



### ホストファミリー募集中!

～留学生と暮らす新しい生活“ホストファミリー”ははじめませんか?～

関西学院大学では、留学生を家族として受け入れる“ホストファミリー”を募集しています。交換学生や短期プログラムの留学生を、約3週間～1年間家族の一員として受け入れ、お世話いただくご家庭を募集しています。国際交流に興味・関心をお持ちの方はQRコードから詳細をご確認のうえぜひご登録ください。また、募集は本学学生のご家族に限定しておりませんので、そのような方にお知り合いにいらしゃいましたらぜひご案内ください。

<b>受入条件</b> 寝具・机・椅子・収納スペース・エアコン・インターネット(Wi-Fi)が利用可能な個室の提供 平日:2食(朝・晩)、土日祝日:3食(朝・昼・晩)の食事の提供 公共交通機関で西宮上ヶ原キャンパスまで通学1時間程度のご家庭 ほか	<b>受入補助費</b> 日額 2,300円
--	---------------------------

お問い合わせ | 関西学院大学レジデンスセンター(ホームステイ担当)  
TEL: 0798-54-6113 Email: homestay@kwansai.ac.jp





# 留学前から卒業までのステップ

希望する留学を叶えるためには計画的に準備を進め、意欲的に臨むことが大切です。ここでは、留学に関連する一連の流れをご紹介します。

## STEP 1

### 留学情報の収集

現在どんなプログラムの募集をしているのか、募集説明会やイベントの予定など、最新情報をチェックしていち早く留学準備をスタートさせることが必要です。出願時期はプログラムにより異なりますが、**だいたい留学開始の半年～1年前の出願**になります。求められる語学力等を出願までに修得しておく必要がありますので、計画的な準備が求められます。将来の目標、留学の目的を考え、在学中の学生生活のプランを逆算して考えていきます。留学の目的、留学期間、語学のレベル、行先などをプログラム選択のポイントとして、幅広い選択肢から選ぶことができます。

#### 中・上級者向け

(TOEFL ITP@500点～が目安)

- ダブルディグリー留学 (大学間の相互単位認定により2つの学位を取得) 1年～2.5年
- 交換留学(海外で専門分野を学ぶ) 1学期間～1年
- 長期留学(学部科目履修型) 1学期間～1年
- 国連ユースボランティア(開発途上国でボランティアをする) 約5か月
- 国際社会貢献活動(開発途上国でボランティアをする) 約5か月
- 中期海外インターンシップ(海外で働く経験をする) 約4か月
- Cross-Cultural College(CCC) (カナダ学生と協働でビジネスを学ぶ) 約1～2週間

#### 初中級者向け

(TOEFL ITP@420点～が目安)

- 中期留学(言語を学ぶ) 1学期間
- 海外フィールドワーク(開発途上国でリサーチ手法を学ぶ) 約10日間

#### 海外導入編

- 海外異文化体験セミナー(海外で異文化を体験する) 約1週間

#### 初級者向け

(英語要件なし(一部を除く))

- 短期海外インターンシップ(海外で働く体験をする) 約4週間
- インドネシア交流セミナー(海外の学生と交流する) 約2週間
- 外国語研修(言語を学ぶ) 約2～6週間
- グローバルPBL\*(海外の学生と協働で学ぶ) 約2週間

\*Project Based Learningの略(課題解決型の学習プログラム)

## STEP 2

### 出願要件を確認し、留学に必要な力を身に付ける

#### Point 1

出願前に所定の要件(英語要件、学業成績など)を満たす必要があるプログラムもあります。そのため、プログラムごとの出願要件や出願期間を国際教育・協力センター(CIEC)のWebサイトや募集要項を確認します。

#### Point 2

外国語能力検定試験を受験し、現在の自分の語学力を把握します。英語能力検定試験は学内でも複数回実施しており、語学力アップのための英語無料講座もあります。まず現在の語学力を把握したうえで(自分の位置の確認)、語学力の向上をめざします(到達目標を設定)。

#### Point 3

とくに中・上級者向けのプログラムについては、語学力の向上だけでなく、学部等で提供されている授業を受講しながら興味・関心分野について学びを深め、留学に備えます。学業成績が出願要件となるプログラムもあるため、日々の授業が大切です。

### ▶ 留学プログラムモデルケース ～いつから準備をスタートするの?～



2年生～3年生で1年間、交換留学をしたいAさん

2年生秋学期から交換留学をする場合、1年生の秋学期には出願が必要です。1年生の秋学期までに、交換留学に求められる語学力と学業成績を修得する必要があります。

1年生	4月中旬 「夏季外国語研修」に出願
	夏休み 「夏季外国語研修」に参加して語学力アップ
	10月下旬 「交換留学 第2期」に出願
2年生	春学期 交換留学に向けて事前学習
	秋学期 交換留学に参加し、海外で学部授業を受講
3年生	春学期 交換留学に参加し、海外で学部授業を受講。夏休み帰国
	秋学期 関学でさらに学びを深め、就職活動も開始
4年生	春学期 関学でさらに学びを深め、就職活動も実施
	秋学期 卒業論文執筆、卒業



2年生で中期留学に参加して英語力をアップ、さらにビジネス分野も学びたいBさん

2年生秋学期に中期留学をする場合、1年生の12月初旬に出願が必要です。出願までに、各大学で求められる語学力を修得する必要があります。

1年生	春学期 学内で実施される英語能力検定試験の受験を目指し英語力を伸ばす
	秋学期 インテンシブ・イングリッシュ*を受講し、引き続き英語力アップに努める
	12月初旬 「中期留学」(次年度秋学期)に出願
2年生	春学期 インテンシブ・イングリッシュ*を受講し、引き続き英語力アップに努める
	秋学期 中期留学に参加し、海外で集中的に英語を学ぶ
3年生	春学期 関学で専門の学びを深めつつ、総合日本習科目などで英語力をさらに向上
	秋学期 関学で専門の学びを深めつつ、就職活動も開始
	10月初旬 Cross-Cultural College(CCC)に出願
	2月 カナダに渡航し、Cross-Cultural College(CCC)の授業を受講
4年生	春学期 関学でさらに学びを深め、就職活動も実施
	秋学期 卒業論文執筆、卒業

\*4技能のレベルアップを目指した集中的な英語の授業(週3回)

## STEP 3

### 留学中の過ごし方

留学前のガイダンス等で設定した自身の目標を振り返りながら、留学の目的を意識して過ごします。学内で実施しているほぼ全ての留学プログラムで単位が認定・付与されますので、提供されるプログラムに積極的に取り組みます。あわせて、現地でしか経験できないアクティビティや現地の方との交流などにも前向きに参加します。

## STEP 4

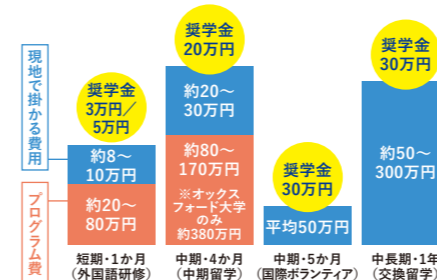
### 留学後の取り組み

- 多くのプログラムで、留学前と留学後で英語力がどの程度アップしたか、また、留学によって得られた成果を測るテストを行っています。
- 留学前のガイダンス等で設定した目標について、留学後にその振り返りを行うことで留学の成果を自分自身で見つめ直します。留学で得た経験・成果を自分自身でまとめることで、今後の就職活動やキャリアにも活かすことができ、これから留学する後輩へ自身の経験を語ることで、あらためて自分の経験を振り返り、再認識することができます。

「計画性」、「実行力」、「主体性」、「タフネス」、「多様性への理解」など、留学で得られる経験や力はまさに、関学が目指す「世界市民」としてのコンピテンシー(資質・能力)であり、今後の進路選択でも大いに役立ちます。

### 留学のための経済的支援

留学にかかる費用はプログラムごと、また渡航する国や地域によって異なります。同じプログラムでも、派遣先によって金額に差があります。(2022年8月現在)



経済的負担を少しでも軽減し留学にチャレンジできるよう、関学では原則としてすべてのプログラムで奨学金を支給し、留学を支援しています。 ※国際学部生は、国際学部留学奨励金・奨学金を支給。

プログラム名	種類・金額(支給額)
交換留学	笹森四郎奨学金、井谷憲次奨学金(2学期:100万円、1学期:50万円)
	交換留学奨学金(2学期:30万円、1学期:15万円)
短期プログラム	短期留学奨学金(アジア3万円、アジア以外5万円) ※海外の協定大学へ派遣されるプログラムのみ ※学部主催プログラム含む
特定の指定プログラム	井谷憲次奨学金(アジア3万円、アジア以外5万円)
中期留学(1セメスター)	中期留学奨学金(一律20万円)
国連ユースボランティア	費用(渡航費、滞在費等)は国連ボランティア計画(UNV)の規定により支給
国際社会貢献活動	国際社会貢献活動奨学金(30万円)
長期留学(学部科目履修型)	長期留学奨学金(2学期:50万円、1学期:25万円)

オンラインプログラムでも奨学金(2万円)を支給。

#### Pick-Up

#### コロナ禍で留学を断念した学生対象の「海外留学特別奨学金」を新設!

2022年度に新たに「海外留学特別奨学金」を設けました。これは、2019年度～2021年度に入学した学生を対象に留学機会の確保の観点から立ち上げた支援制度です。関学が提供する1学期以上の対象留学プログラムに参加することで、標準修業年限4年を超過する場合、5年目に納付する授業料や教育充実費といった学費相当額の金額を、留学期間に準じて支給します。コロナ禍で留学機会が失われた学生に留学を再考頂くための絶好の制度です。時間に余裕のある学生時代に、留学へのチャレンジを後押しします。

お問い合わせ | 国際連携機構 海外留学特別奨学金 担当 TEL:0798-54-6115

#### 海外留学特別奨学金

【対象】2019年度～2021年度入学の学部生  
【支給内容】本学が提供する1学期以上の対象派遣留学プログラムに参加し、それにより在学期間が標準修業年限(4年)を超える場合、5年目に納付する学費相当額(授業料、教育充実費、実験実習費)を留学期間に準じて支給

### 関西学院大学が留学に強い5つの理由

#### 1 多様な留学先、多様なプログラム

世界中の大学や教育機関と協定を結び、英語圏はもちろん、ヨーロッパやアジア各国など様々な言語と文化を体験できる70以上のプログラムを実施。留学の難易度、期間、目的も多様で、一人ひとりのニーズにあったプログラムが見つかります。

#### 2 奨学金制度が充実

プログラムごとに、返済不要の支給型奨学金制度を用意しています。また、コロナ禍で留学機会が失われた学生の留学を後押しするため、期間限定の奨学金「海外留学特別奨学金」も新設しています。

#### 3 原則4年\*で卒業できる

学内で実施しているほとんどの留学プログラムで、単位が認定・付与されます。半年や1年間の留学の場合、留学先での学習や成果が単位として認められるので、4年間の卒業が原則可能です。  
\*4年で卒業する場合、学部により参加可能な留学プログラムが異なります。

#### 4 万全のサポート体制

国際教育・協力センターが、留学を全面的にサポート。留学相談にお答えすることももちろん、語学力向上の支援も行っています。  
●留学情報の発信  
●留学フェア(留学促進イベント)の開催  
●留学個別相談(留学アドバイザー)

#### 5 危機管理体制の整備

プログラム参加学生には、本学指定の海外旅行傷害保険や危機管理サービスへの加入を義務づけています。これらは昨今の世界情勢を踏まえ、予期せぬ事態に備えてセーフティネットを重層化することを目的としており、事件・事故、トラブル発生の際には、本学と危機管理会社が緊密に連携・情報共有しながら対応にあたります。

57カ国・地域  
280を超える大学・国際機関





SHINGETSUSAI  
**新月祭2022** -Keep Going あの月をもう一度-

対面開催※



※来場には事前予約が必要です

神戸三田キャンパス

10.22 Sat. - 23 Sun.

西宮上ヶ原キャンパス

11.5 Sat. - 6 Sun.

西宮聖和キャンパス

11.12 Sat. - 13 Sun.

私たち関西学院大学大学祭総部新月祭実行委員会は、関西学院大学の大学祭である「新月祭」の企画・運営をおこなっています。平素より、私たちの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

今年度のスローガンは「Keep Going あの月をもう一度」です。今年度、新月祭2022は対面の学祭を開催できる運びとなりました(新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては変更があります)。「Keep Going」には、立ち止まらない、前進し続けるなどの意味があります。新月祭は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、これまで通りの開催が見送られてきました。そのような状況で止まるわけにはいかない、これまでの新月祭(月)を取り戻し、開学に笑顔の光を、そして、お世話になっている関係者の皆さまに感謝の気持ちをお伝えしたいと強く思っています。多くの方々にお越しいただき、対面で参加するからこそ感じられる魅力をぜひ味わってください。

MESSAGE

あの新月祭をもう一度

大学祭総部 新月祭実行委員会  
 委員長  
 柏木 結大 (法学部 3年)



今年度、委員長を務めさせていただいています、柏木結大です。日々、私たちの活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

私たちはオンライン学祭などを経験し、対面で新月祭を行う意義を再確認しました。その思いを忘れずに、役職者全員が対面の新月祭を経験したことがないという状況の中ではありましたが、過去資料や先輩方の助言をもとに、切磋琢磨しながら準備を進めてきました。

皆様もぜひお越しいただき、もう一度あの(対面の)新月祭をお楽しみいただければ幸いです。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

MESSAGE

挑戦の新月祭

大学祭総部 新月祭実行委員会  
 副委員長・三田代表  
 長谷川 和弥 (理工学部 3年)



私たちは対面の新月祭を実現すべく、例年と比べて、感染症対策などプラスアルファの準備をしてきました。そういった意味で挑戦の新月祭です。新月祭のトップバッターとして、これまで経験したことのないことを実施するという状況に果敢に挑戦したいと思います。

自然豊かな神戸三田キャンパスにお越しいただき、三田でしか味わうことのできない新月祭をお楽しみください。

MESSAGE

理想の新月祭実現に向けて

大学祭総部 新月祭実行委員会  
 副委員長・上ヶ原代表  
 新井 陽大 (商学部 3年)



数年ぶりに対面での新月祭が決定し、しみじみ気持ちがある反面、プレッシャーを感じています。

コロナによる制限がある中でも、先輩方が目を輝かせながら話していた対面学祭ならではの魅力を、来場して下さる方々にお届けできたらと思っています。

また来場して下さる方々はもちろんのことですが、新月祭に協力して下さる関係者の皆様、新月祭実行委員会の仲間たち、全員の思い出に残るような新月祭を創り上げていきたいと思っています。

MESSAGE

きっかけを作る新月祭

大学祭総部 新月祭実行委員会  
 副委員長・聖和代表  
 清水 香穂 (教育学部 3年)



新月祭2022、3年ぶりの対面開催が決定しました。3年前、対面開催された2019年の新月祭は、私が入部を決めたきっかけです。

新月祭2022では多くの人に夢と感動を与え、何かのきっかけを1人でも多くの方に与えられるよう精一杯頑張ります。

従来の対面で開催されてきた新月祭の伝統を受け継ぎつつ、新しい部分も生み出す、そんな新月祭2022を実現したいと思います。

神戸三田キャンパス

- 1 三田イベント**  
 バスボム作りや射的など誰もが楽しめる様々な企画を行います。  
 日時 10月22日(土)11:00~16:30 10月23日(日)10:00~16:30
- 2 三田お笑い**  
 お笑い芸人さんをお呼びし、面白いネタを披露してもらいます。  
 日時 10月22日(土)14:30~15:30
- 3 三田トークショー**  
 著名人をお呼びし、トークショーと色々な企画を行ってまいります。  
 日時 10月23日(日)11:30~12:30



西宮上ヶ原キャンパス

- 1 上ヶ原イベント**  
 関学生による歌うま選手権を行います!豪華な景品が当たるチャンスです。  
 日時 11月5日(土)11:00~16:00(予定)
- 2 上ヶ原イルミネーション**  
 中央芝生でイルミネーション企画を行います。時計台とステージが華やかになる新月祭最後の企画です。  
 日時 11月6日(日)18:00~20:00(変更の可能性あり)
- 3 上ヶ原トークショー**  
 テレビで活躍されている俳優さんをお呼びし、1時間のトークショーを行います!  
 日時 11月6日(日)14:00~15:00
- 4 上ヶ原ライブ**  
 アーティストをお呼びし、中央芝生で無料野外ライブを行います!  
 日時 11月5日(土)15:45~16:45



西宮聖和キャンパス

- 1 聖和あそび**  
 はらぺこスローイングや工作などみんなが楽しめる企画をスタンプラリーで行います。  
 日時 11月12日(土)12:40~16:30 11月13日(日)10:00~16:30
- 2 聖和お笑い**  
 お笑い芸人さんを3組お呼びし、面白いネタを披露してもらいます。  
 日時 11月13日(日)14:00~15:10
- 3 聖和フェスタ**  
 関学生、地域の人々にノンジャンルのパフォーマンスを発表してもらいます。  
 日時 11月12日(土)14:00~16:45

公式SNS



公式Webサイト



※状況によっては開催形態を変更する可能性があります。最新情報は公式ホームページ・SNSで発信します。



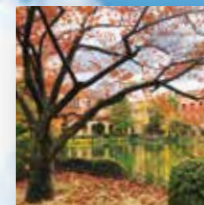
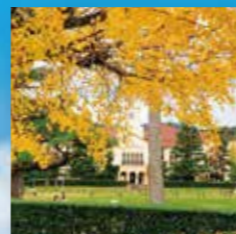


たのしい!うれしい!なつかしい!  
ご家族と母校で過ごすとおきの1日。

11/13日  
10:00▶16:00

# Homecoming Day 2022

関西学院 ホームカミングデー  
in 上ヶ原キャンパス



最新情報はSNSでチェック!



## 関西学院の 「空中散歩」をたのしもう! 熱気球KGフライト 2022

要予約

中央芝生から全長25mの大迫力の熱気球に乗って、旧友やご家族と一緒になつかしいキャンパスの景色を空からお楽しみください。

### 事前予約はこちらから

ホームカミングデー  
特設ホームページから  
ご予約ください。



事前予約開始時期は10月中旬を予定しております。詳細につきましては特設ホームページ、またはSNSにてご案内いたします。ご来場の際は同封の入場券に氏名等を記入して必ずご持参ください。

学部ごとの多彩なプログラムを自由体験!

### 子ども大学

大学生ってどんなことを勉強するの? そんなお子さまの疑問に答えるため、ホームカミングデーだけの特別なプログラムをご用意しました。みんな楽しんでながら、関西学院大学の学びを一足先に体験してみてください!



小学生対象

要予約

KG生になって学ぶたのしさ体験しよう!

### 現役学生によるKG体験

関西学院中部・高等部や関西学院千里国際中等部・高等部の生徒と一緒にKG生の学びを体験しよう!



小学生対象

要予約

お兄さん・お姉さんたちと一緒にたのしもう!

### クラブ体験

関西学院大学のクラブに、一日入部体験! 誰でもお楽しみいただけるよう、現役関学生が付きっきりで指導にあたります。体育会系から文化系まで、多彩なクラブがお子さんの挑戦をお待ちしています!



※学内における感染防止に対応する活動制限レベルにより実施できない場合があります。

※写真はすべてイメージです。 ※全てのプログラムは予定のため、予告なく変更・中止する可能性があります。



# Homecoming Day 2022

ホームカミングデー お問い合わせ・予約

(主催) 関西学院同窓会  
MAIL: dousoukai@kwangaku.net  
TEL: 0798-51-3604  
〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町1-155

(主催) 関西学院総務部校友課  
TEL: 0798-54-6010

(後援) 関西学院後援会

## information



全てのプログラムは予定のため、予告なく変更する可能性があります。また、新型コロナウイルスの感染状況により、中止や内容が変更となる可能性があります。会場によっては入場制限を行うことになります。最新情報は特設ホームページまたは後援会ホームページにてご確認ください。



新型コロナウイルス感染予防のため、必ず当日の検温、マスクの着用をお願いします。



西宮上ヶ原キャンパスには駐車場はございませんので、公共交通機関(電車・バス等)をご利用ください。

## 総合受付

9:30~15:30

正門

検温で体温が37.5度以上の方は入場していただくできません。



## ワクワク体験!

キャンパス周遊

### ● 謎解きクイズラリー

(関西学院高等部社会部クイズ班監修)

KGオリジナルグッズを巡って関学生にチャレンジ!



### ● キャンパスツアー

(KG CLUB)

現役の関西学院大学生が、西宮上ヶ原キャンパスをご案内します!

時計台前集合・1時間毎に開始



## ホットと一息!



10:00~15:00 プラザ前

### ● キッチンカー

キッチンカーが集結!  
おいしいメニューが盛りだくさん!



営業している食堂を除き、お食事は「飲食可能エリア」でのみ可能です。会場内での食べ歩きは禁止いたします。

11:00~18:00 関西学院会館 レストランポプラ

### ● レストランポプラ

ホームカミングデー当日のお食事やご休憩にいかがでしょうか。

ランチタイム	ティータイム
11:00~14:00	14:00~18:00 (17:00 L.O)

ご予約・お問い合わせ TEL: 0798-54-1188 (直通)  
\*営業時間が変更となる可能性があります。

## KGグッズ販売

10:00~16:00

ロゴ入りのハンドタオルなど関西学院オリジナルグッズを販売。ご来校の記念に、お土産におススメです。

## グリークラブ演奏会

15:00~15:30 関西学院会館 2階 光の間

ホームカミングデーの一日を締めくくる、グリークラブの演奏をお楽しみください。

## 礼拝

11:00~、13:00~ ランバス記念礼拝堂

関西学院大学には各学部礼拝堂(チャペル)があります。実際に結婚式が行われる礼拝堂で心静かなひとときをお過ごしください。

## 初等部在校生の保護者の皆様

ホームカミングデーでは、お子様が参加できるイベントが多数用意されています。“こども大学”プログラムでは大学教員が小学生向けに授業を行い、興味・関心の幅を広げ、学ぶ楽しさを体験していただくことはもちろん、お子様の将来像を身近に感じていただける機会と考えております。総合政策学部、建築学部、理学部、工学部、生命環境学部の5学部の中からご希望の学部の学びをご体験ください。

そのほか、クラブ体験や消しゴムはんこ作成体験、プログラミング体験、SDGsワークショップ等の様々な体験コーナーもご用意しております。(\*プログラムによって、事前予約が必要となります)ホームカミングデーにお越しいただいた小学生の方には、入場の際に総合受付にてプレゼントをお渡しさせていただきます。

詳細は、後援会ホームページでもお知らせしますが、特設ホームページ、またはSNSでもご確認ください。  
(#関西学院ホームカミングデー)

## 中学部・高等部・千里国際・大学在校生の保護者の皆様

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学生生活における様々な活動制限やイベント実施の中止、延期といった状況が続いております。

ホームカミングデーでは在学生の皆さんが今まで取り組んできたこと、頑張ってきたことを発表する場として、様々なプログラムでご活躍されています。

関西学院を身近に感じている方はもちろん、遠方にお住まいの保護者の皆さまもぜひ、この機会に“上ヶ原”においていただき、“KGファミリー”の集いの場としましょう。

新型コロナウイルス感染拡大防止について、細心の注意を払い感染症対策を講じた上で実施します。しかしながら、今後の状況により中止させていただく可能性があります。あらかじめ、ご承知おきのほど、宜しくお願いいたします。詳細につきましては、特設ホームページをご確認ください。

**後援会通信同封の入場券を必ずご持参ください。当日お持ちでない方は入場できませんのでご了承ください。**

特設ホームページより各種プログラム参加のための事前予約、事前アンケートの回答をお願いします。





YONEDA AKIRA  
米田 明  
建築学部 教授

建築物1つひとつが、街並みを作り出す。  
数十年先を見据えたデザインで  
新たな価値創造を。

少子高齢化や人口減少、環境問題の深刻化、情報技術の進化など、超スピードで変容する現代。社会構造の変化に伴い、私たちの暮らす家や街、都市も目まぐるしく移り変わっています。2021年4月、神戸三田キャンパスに新設された建築学部（関学建築）は、建築を新たな視点から捉え直し、現代社会における課題解決をめざす場所。私自身も、開設当初より教鞭を取っています。

ひとことで「建築」と言っても、建物からインテリア、都市開発など、その分野は多岐にわたります。私は建築家として、建物の設計を行う実務に携わってきました。東京大学の建築学科を卒業後、(株)竹中工務店で勤務したのち、アメリカへ。著名な建築家、都市計画家、造園家を数多く輩出する、ハーバード大学のデザイン大学院に進学しました。建築、都市計画、ランドスケープの3つの分野を組み合わせたカリキュラムを通して、実践的な建築デザインを学んだのち、建築家として日本で独立。30年以上にわたり、東京を拠点に、住宅などの設計に取り組んでいます。

建造物の設計において心がけているのは、様々な条件を洗い出し、バランスを調整しながらデザインすること。建物は、完成したのちも、数十年にわたり残り続け、街並みを形成します。そのため設計の際には、クライアントの要望に応えるのはもとより、周囲の建物との調和を意識するなど、公共に対する配慮が必要となります。さらに地盤や気候など、立地によっても建築に用いる素材や設計条件が変化。完成して終わりではなく、先を見据えた発想が必要です。そうは言っても、無難なデザインでは面白みに欠けてしまう。お客様の声と建築にまつわる外的要因との釣り合いを取りながら、新しい価値を付与するデザインを提案しています。

建物の完成までには、多くの時間と費用が生じます。住宅など、クライアントや案件によっては、一生に一度の買い物となる場合も。加えて、周囲にお住まいの方にとっても、今後、長年にわたって生活の一部となりえます。社会全体の要望に応えることはなかなか難しいですが、数十年先を予測した上で、できる限り多くの人に満足していただけるようなデザインを意識しています。

また、建築の持つ特性上、大きな建造物の場合は同じスケールで試作品を制作できません。そのため、設計はいつも一発勝負。粘土などで模型は制作するものの、建物の内部に入った時の様子や、街並みなどは、データをもとに想像力を膨らませて考えます。配慮すべき事項が多いため、アイデアの精緻化はなかなか一筋縄ではいきません。しかし、個々の要素がうまく噛み合えば、自身の期待以上のものが生み出せる。そこが、建築の面白さだと感じています。

# CLOSE UP RESEARCH

関西学院の学びを支える教育者であり、また飽くなき探究心を持ち続ける研究者でもある  
教授・教員陣の最前線をレポートする。





## テクノロジー×アート×マネジメントの融合で、 新たな視点から建築を紐解く。

建築と同様、幅広い領域を持つ建築学。日本と諸外国とは、その捉え方が大きく異なります。日本における建築学は実学的な意味合いが強く、大学では工学部に含まれることが一般的です。研究内容も、実際に設計する上での構造や材料、エネルギー効率の良い施工方法など、テクノロジーに分類されるものが中心。一方、アメリカをはじめとした海外では、建築学を人文学として扱います。屋根など、建物の構成部分を1つとつても、現状のデザインが形成されるまでには、歴史や文化、宗教など、様々な社会的要因が関与しています。それらを踏まえ、現在に至るまでの経緯を含めて建築と捉える考え方が主流です。さらに、建築を絵画や彫刻など同様の芸術作品として扱うことも。研究の際には、アートとしての側面が重視されます。

関学建築の特色は、テクノロジーとアートそしてマネジメントの視点を取り入れた、新たな建築学です。「建てること」にとどまらない、建築と都市の未来創造をめざしており、業界の第一線で活躍する教員が数多く在籍しています。さらに、関西学院は、130年を超える歴史を有し

ています。神学部と普通学部の2学部制で創立され、建学当初から文系学部が充実している、由緒ある大学だからこそ、人文学と実学、両方の側面から建築学を深く学べるのではないかと私はそう考えています。

グローバル化の流れを受け、国際的に建築設計資格の規格を統一する動きがある昨今、建築の学問領域も、今後さらに広がっていくことが考えられます。国内外を問わず業界で活躍できる素養を培うためには、実学と人文学、それぞれの面から幅広く学びを深めることが肝要だと感じます。

さらに、グローバルな視点に基づく建築の学びは、現場でも大いに生きてきます。日本の建築の特異性は、諸外国と比較することで際立つからです。例えば、国土の約3/4が山地である日本では、長年、山を切り拓いて建てられた木造建築が主流であり、現在も一部の地域では木の文化が根付いています。一方で、ギリシャなど夏期の日差しが厳しい地域では、家の中の温度上昇を抑えるため、光を良く反射する白色を用いた石造りの家屋が中心です。より説得力のあるデザインを生み出すため



「建築設計演習Ⅲ」講評会の様子

## 130年の歴史に基づく関学独自のアプローチで、 次代のリーダー育成をめざす。

当学部では2021年の開設以降、関西学院の歴史に基づきながら建築学を紐解いています。例えば一貫したコンセプトのもとで、建築と周辺環境の融合をめざす「建築設計演習Ⅲ」の授業では、「関学発祥の地である原田の森にメディアセンターを建てるなら」と仮定し、アイデアを考案。周辺の景観やバリアフリーなど、様々な観点に配慮しながら、図面や模型を組み立てます。最終回には授業の集大成として、専門家による講評会を実施。関西学院のルーツを学ぶ意図も兼ねて、開催地は原田の森ギャラリー。風光明媚な文京地区で、建築自体の評価に加え、周囲の様子やこれまでの歴史も踏まえて、採点を行います。このように、130年の歴史と兵庫の地に根差した学びで、関西学院ならではの視点から建築学を探究しています。

また、進路についての考え方も一般的な建築学部とは異なります。建築学部というと、建築士やインテリアデザイナーなど、建物やプロダクトを扱うプロフェッショナルをめざすイメージがあるかと思いますが、関学建築では、国際社会・地域社会で活躍できる都市計画技術者や、まちづくりにおけるリーダーの育成も図っています。さらに、本学部での学びを通して身につく考え方は、あらゆる職種、業種に応用が可能です。例えば、ユーザー視点に立ち、サービスやプロダクトの本質的な課題・ニーズを発見できるデザイン思考は、ビジネス上の課題を解決する上で重要な考え方と言えます。建築業界での活躍をめざす人に限らず、「幅広い状況に対

には、該当地域の建築に加えて、様々な国や地域における建築の成り立ちを理解しておくことが必要なのです。歴史という土壌の上に現在の建築があり、社会の変化に伴い、建築のすがたも変わり続ける。人文学的なアプローチは、建築学において非常に有用だと言えます。

応できるデザイン能力を身につけたい」「フィールドワークを通して社会の具体的な課題解決に取り組みたい」など、様々な夢を持った学生が集まる関学建築。新しい建築と都市の学びをもたらす場として、今後も次代のリーダー育成を推進していきます。



### PROFILE 米田 明 建築学部 教授

東京大学工学部建築学科を卒業後、(株)竹中工務店の設計部での勤務を経て、ハーバード大学デザイン大学院(Harvard University Graduate School of Design) 修士課程(MArch II)を修了。建築設計事務所アーキテクトン設立ののち、東京を拠点とし、住宅を中心に建設、設計に精力的に取り組む。教育者としても活動しており、2004年より京都工芸繊維大学で勤務。2021年より関西学院大学建築学部教授、京都工芸繊維大学名誉教授。建築、デザインの分野において、国内外共に受賞成績多数。



# 後援会報告

## 2022年度 関西学院後援会代議員会・第1回幹事会記録

2020年度より新型コロナウイルス感染症拡大の状況に鑑みて対面での開催を中止していた代議員会を3年ぶりに開催しました。通常であれば開催できていた第3部の懇親会は開催せず、交流の場を提供するに留めざるを得ませんでしたが、多くの方においていただき講義を進行することができました。

### 第1部 議長:那須 善行 会長 司会:加地 正和 副会長

#### I 2021年度 事業報告に関する件

田中庶務常務役員より、2021年度後援会事業(P. 42参照)に基づく報告があり、これを承認。

#### II 2021年度 会計報告および会計監査に関する件

松田会計常務役員から2021年度後援会決算書(P. 43参照)に基づく会計報告。続いて、土山会計監査常務役員の監査報告があり、これを承認。

#### III 2022年度 新幹事選出に関する件

選出方法について議長に一任され、加地副会長より新幹事候補者名が発表され、これを承認。

#### IV 2022年度 新常務役員選出に関する件

幹事の中から新常務役員の選出を行い、これを承認。

#### V 2022年度 新常務役員紹介

加地副会長より、幹事会で選出された新常務役員の紹介があった。新常務役員を代表して重久新会長より挨拶。

〈以降の議題は後援会規約第6条により重久 庄児 新会長が議長を務めた〉

#### VI 2022年度 事業に関する件

金丸庶務常務役員から2022年度後援会事業計画(P. 42参照)に基づく説明があり、これを承認。

#### VII 2022年度 予算に関する件

狩野会計常務役員から2022年度後援会事業予算(P. 44参照)に基づく説明があり、これを承認。

### 第2部 司会:江田 政亮 副会長

#### 学事報告

関西学院大学、聖和短期大学、関西学院高等部、関西学院中学部、関西学院初等部、関西学院千里国際中等部・高等部

#### 感謝状贈呈

中道院長より、今回常務役員を退任された、那須 善行氏、松田 浩一氏、土山勝史氏に感謝のプラークおよび記念品を贈呈。退任にあたり各氏から挨拶があった。

## 2021年度 後援会事業

開催日	事業
4月 1日(木)	・「後援会通信」第60号発行
4月 1日(木)	・大学入学式 ※新入生父母歓迎プログラムは入学式実施規模縮小のため中止 ①9:00 神・文・人・国 ②13:00 総・教・理・工・生・建 2日(金) ③9:00 社・法 ④13:00 経・商
4月17日(土)	・第1回 常務役員会 於: 関西学院会館
6月を予定	・就職・留学ガイダンス(旧キャリア・就職講演会) ※後援会HPでの動画配信
6月12日(土)	・関西学院大学 関東・東北・甲信越地区教育懇談会 ※中止
6月19日(土)	・2021年度代議員会 ※インターネットを利用した議決権行使による開催 ・第1回 幹事会 於: 関西学院会館 ・第2回 常務役員会
7月10日(土)	・関西学院大学 東海地区教育懇談会 ※中止
7月17日(土)	・第3回 常務役員会 於: 大阪市内
7月31日(土)	・保護者向け就活セミナー(関西学院大学 教育懇談会代替として) ※オンラインによる開催
6月26日(土)	・関西学院大学 徳島・淡路島地区保護者交流会
7月 3日(土)	・関西学院大学 静岡県保護者交流会 ※新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑み中止。7/31にオンラインにて代替開催。
7月31日(土)	・関西学院大学 鹿児島県保護者交流会
8月 7日(土)	・関西学院大学 熊本県保護者交流会
8月28日(土)	・関西学院大学 宮崎県保護者交流会
9月 4日(土)	・関西学院大学 教育懇談会 ※中止
9月18日(土)	・関西学院大学 教育懇談会 ※中止
9月25日(土)	・聖和短期大学 教育懇談会 於: オンラインによる開催
10月 1日(金)	・「後援会通信」第61号発行
10月 9日(土)	・関西学院大学 四国地区教育懇談会 ※中止
10月16日(土)	・第4回 常務役員会 於: 関西学院会館 ・第2回 幹事会 ※幹事会は中止、臨時代議員会は延期 ・臨時 代議員会

開催日	事業
11月19日(金)	・第5回 常務役員会 於: 大阪市内
9月25日(土)	・関西学院大学 北海道保護者交流会
10月 2日(土)	・関西学院大学 山陰地区保護者交流会
10月23日(土)	・関西学院大学 東北地区保護者交流会 ※新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑み中止。11/20にオンラインにて代替開催。
11月 6日(土)	・関西学院大学 長野県保護者交流会
11月20日(土)	・関西学院大学 三重県保護者交流会
12月 4日(土)	・関西学院大学 北関東地区保護者交流会
12月18日(土)	・関西学院大学 滋賀県保護者交流会
11月27日(土)	・留学・理系キャリアセミナー(関西学院大学 教育懇談会代替として) ※オンラインによる開催
12月21日(火)	・関西学院クリスマスatザ・シンフォニーホール(学院・後援会・同窓会共催) ※中止
2022年	
1月19日(水)	・後援会表彰 関西学院高等部 於: 関西学院高中部礼拝堂
1月21日(金)	・第6回 常務役員会 於: オンラインによる開催
2月14日(月)	・後援会表彰 関西学院 初等部 於: 初等部ベーツチャペル
3月12日(土)	・後援会表彰 関西学院大学 於: 中央講堂(表彰式は中止)
3月14日(月)	・後援会表彰 関西学院 中学部 於: 関西学院高中部礼拝堂 ・後援会表彰 千里国際中等部・高等部 於: 千里国際キャンパス
3月26日(土)	・第7回 常務役員会 於: 宝塚ホテル ・第3回 幹事会 ※幹事会および臨時代議員会は中止 ・臨時 代議員会
	・父母歓迎「Let's go to the stadium」 ※代替企画をHP上で告知
	・父母歓迎「Kwasei Gakuin Welcome Concert」(収養部コンサート) ※中止

## 2022年度 後援会事業計画

開催日	2022年度 実施事業
4月 1日(金)	・「後援会通信」第62号発行
4月 1日(金)	・大学入学式 ※新入生父母歓迎プログラムは入学式実施規模縮小のため中止 ①13:00 総・教・理・工・生・建 2日(土) ② 9:00 神・社・法・人・国 ③13:00 文・経・商
4月15日(金)	・第1回 常務役員会 於: 関西学院会館
4・5月頃	・父母歓迎「Let's go to the stadium」 ※開催検討中 ・父母歓迎「Kwasei Gakuin Welcome Concert」(収養部コンサート) 於: HP上でオンライン配信
5月28日(土)	・関西学院大学 高知県保護者交流会 於: ホテル日航高知旭ロイヤル
5・6月頃	・就職・留学ガイダンス(動画配信) ※開催検討中
6月 4日(土)	・関西学院大学 北陸地区教育懇談会 於: ANA クラウンプラザホテル金沢
6月18日(土)	・第2回 常務役員会 於: 宝塚ホテル ・第1回 幹事会 ・2022年度代議員会
7月 2日(土)	・関西学院大学 福井県保護者交流会 於: ザ・グランアースフアイ
7月 9日(土)	・関西学院大学 九州・沖縄地区教育懇談会 於: ソラリア西鉄ホテル博多
7月15日(金)	・第3回 常務役員会 於: 大阪市内
7月23日(土)	・関西学院大学 山口県保護者交流会 於: 山口グランドホテル
8月 6日(土)	・関西学院大学 山陰地区保護者交流会 於: ANA クラウンプラザホテル米子
8月13日(土)	・関西学院大学 新潟県保護者交流会 於: ホテルオークラ新潟
8・9月頃(未定)	・聖和短期大学 地区別教育懇談会 於: 未定
9月 3日(土)	・関西学院大学 教育懇談会 於: 西宮上ヶ原キャンパス
9月24日(土)	・関西学院大学 教育懇談会 於: 神戸三田キャンパス
9月25日(日)	・聖和短期大学 教育懇談会 於: 西宮聖和キャンパス
10月 1日(土)	・「後援会通信」第63号発行
10月 1日(土)	・第4回 常務役員会 於: 関西学院会館 ・第2回 幹事会

開催日	2022年度 実施事業
10月10日(月)	・父母歓迎「Let's go to the stadium」(体育会陸上競技部) 於: 出雲大社周辺
10月15日(土)	・関西学院大学 大分県保護者交流会 於: レンブラントホテル大分
10月29日(土)	・関西学院大学 長崎県保護者交流会 於: ホテルニュー長崎
11月 5日(土)	・関西学院大学 沖縄県保護者交流会 於: ヒルトン沖縄北谷リゾート
11月12日(土)	・関西学院大学 中国地区教育懇談会 於: ホテルグランヴィア広島
11月13日(日)	・ホームカミングデー 於: 西宮上ヶ原キャンパス
11月18日(金)	・第5回 常務役員会 於: 大阪市内
11月26日(土)	・関西学院大学 北関東地区保護者交流会 於: ホテルラシーネ前橋
12月20日(火)	・関西学院クリスマスatザ・シンフォニーホール(学院・後援会・同窓会共催)
2023年	
1月21日(土)	・第6回 常務役員会 於: 関西学院会館
2月18日(土)	・関西学院大学 富山県保護者交流会 於: オクスカナルパークホテル富山
2月25日(土)	・関西学院大学 和歌山県保護者交流会 於: ホテルグランヴィア和歌山
3月 4日(土)	・後援会表彰 関西学院大学 於: 中央講堂(125周年記念講堂)
3月25日(土)	・第7回 常務役員会 於: 関西学院会館 ・第3回 幹事会
2・3月(未定)	・後援会表彰 聖和短期大学、関西学院高等部 於: 未定 関西学院中学部、関西学院初等部 関西学院千里国際中等部・高等部

### 事業

- ・新入生父母歓迎記念事業
- ・後援会表彰
- ・新生父母歓迎記念品作製
- ・就職・留学ガイダンス (大学1・2年生保証人向け)
- ・新入生父母歓迎プログラム
- ・Let's go to the stadium
- ・後援会奨学金
- ・卒業生父母記念事業記念品作製
- ・保護者交流会開催
- ・「後援会通信」発行
- ・後援会Webサイト運営

### 援助

- ・大学教育懇談会援助
- ・奨学援助
- ・学生・生徒・児童の活動・行事援助
- ・国際交流振興援助
- ・教育研究活動援助
- ・就職活動援助
- ・成績表郵送費援助
- ・海外受入派遣活動援助
- ・広報活動援助
- ・学生教育研究災害傷害保険援助
- ・関西学院クリスマスat ザ・シンフォニーホール援助

### 主な後援会事業



代議員会



感謝状贈呈



# 後援会報告

## 2021年度 関西学院後援会 決算書 (2021年4月1日～2022年3月31日)

収入の部		予算額	決算額
会費収入(人数は決算人数)		149,844,000	148,456,000
関西学院大学	22,979名分 @6,000円	139,446,000	137,871,000
聖和短期大学	258名分 @6,000円	1,626,000	1,545,000
関西学院高等部	1,152名分 @3,000円	3,408,000	3,455,000
関西学院中学部	738名分 @3,000円	2,196,000	2,215,000
関西学院初等部	545名分 @3,000円	1,638,000	1,635,000
関西学院千里国際高等部	279名分 @3,000円	840,000	837,000
関西学院千里国際中等部	240名分 @3,000円	690,000	721,000
前期末未収入金収入		0	3,000
卒業生家族の会	58名分 @3,000円	—	174,000
関西学院積立金取崩		0	0
前年度繰越金		66,598,660	66,598,660
合計		216,442,660	215,054,660

支出の部		予算額	決算額
事業費		206,700,000	145,173,365
教育懇談会、交流会		26,000,000	5,625,840
学生・生徒の活動・行事援助		31,900,000	35,726,174
援助(課外活動)		9,000,000	3,072,000
援助(各部学祭・文化祭)		5,500,000	4,500,000
援助(その他)		17,400,000	28,154,174
国際交流振興援助費		2,500,000	77,000
教育研究活動援助		3,200,000	2,024,840
就職活動援助		4,200,000	4,107,003
海外受入派遣活動援助(大学)		7,000,000	3,614,970
後援会表彰		9,000,000	6,260,346
広報活動援助費		4,000,000	3,800,000
奨学援助		42,300,000	29,440,062
学災保護援助費		6,100,000	5,800,000
卒業記念品作製料		9,000,000	8,680,000
入学記念品作製料		14,000,000	11,182,504
新入会員歓迎企画		3,000,000	74,240
クリスマス援助費		3,000,000	0
代議員会		9,000,000	1,953,704
郵送費(成績・通信等)		2,000,000	2,000,000
後援会通信		22,000,000	18,548,287
校歌CD制作費		0	178,200
後援会HP運営費		8,500,000	6,080,195
幹事会・常務役員会		3,000,000	1,428,807
積立金		0	0
事務費		1,000,000	654,484
予備費		4,203,660	844,672
合計		214,903,660	148,101,328

2021年度 関西学院後援会財産目録 (2022年3月31日現在)	
(単位:円)	
経常会計 次年度繰越金	66,953,332円
特別会計(積立金)繰越金(関西学院財務部預り金)	20,005,093円
(内訳)積立金	20,004,895円
預金利息	198円

特別会計 決算書 (2021.4.1～2022.3.31)	
(単位:円)	
収入	金額
運用収入	198
期首残高	20,004,895
合計	20,005,093
支出	金額
期末残高	20,005,093
合計	20,005,093

## 2022年度 関西学院後援会予算 (2022年4月1日～2023年3月31日)

収入の部		22年度予算額	21年度決算額
会費収入		150,267,000	148,456,000
関西学院大学	23,334名分 @6,000円	140,004,000	137,871,000
聖和短期大学	239名分 @6,000円	1,434,000	1,545,000
関西学院高等部	1,159名分 @3,000円	3,477,000	3,455,000
関西学院中学部	741名分 @3,000円	2,223,000	2,215,000
関西学院初等部	541名分 @3,000円	1,623,000	1,635,000
千里国際高等部	285名分 @3,000円	855,000	837,000
千里国際中等部	217名分 @3,000円	651,000	721,000
前期末未収入金収入		0	3,000
卒業生家族の会	41名分 @3,000円	123,000	174,000
積立金取崩		0	0
前年度繰越金		66,953,332	66,598,660
合計		217,220,332	215,054,660

支出の部		22年度予算額	21年度決算額
事業費		160,700,000	145,173,365
教育懇談会、交流会		26,000,000	5,625,840
学生・生徒の活動・行事援助		18,900,000	35,726,174
援助(課外活動)		9,000,000	3,072,000
援助(各部学祭・文化祭)		5,500,000	4,500,000
援助(その他)		4,400,000	28,154,174
国際交流振興援助費		2,500,000	77,000
教育研究活動援助		2,000,000	2,024,840
就職活動援助		3,000,000	4,107,003
海外受入派遣活動援助(大学)		7,000,000	3,614,970
後援会表彰		9,000,000	6,260,346
広報活動援助費		2,000,000	3,800,000
奨学援助		19,300,000	29,440,062
学災保護援助費		6,000,000	5,800,000
卒業記念品作製料		9,000,000	8,680,000
入学記念品作製料		14,000,000	11,182,504
新入会員歓迎企画		4,000,000	74,240
クリスマス援助費		3,000,000	0
代議員会		8,000,000	1,953,704
郵送費(成績)		2,000,000	2,000,000
後援会通信		22,500,000	18,548,287
校歌CD制作費		0	178,200
後援会HP運営費		2,500,000	6,080,195
幹事会・常務役員会		3,500,000	1,428,807
積立金		50,000,000	0
事務費		1,000,000	654,484
予備費		2,020,332	844,672
次年度繰越金		0	66,953,332
合計		217,220,332	215,054,660

2022年度予算会費収入は、2022年4月7日現在の学生・生徒・児童数×2021年度予算時と2021年度決算時の学生員数の差異等から算出

## 2022年度 関西学院後援会 常務役員、幹事および代議員一覧

常務役員	幹事	増田 敦士	[法学部]	入江 徹	光岡 康智	須藤 桂太郎	印藤 雅典	辰馬 清	廣田 雄一	代議員	藤原 英一	竹中 美子
[会長]	[神学部]	越野 大二郎	田中 吉幸	中西 良明	三木 保宏	渡辺 幸嗣	立岩 菜摘	齊藤 賢介	徳永 真介	[文学部]	仲田 隆宣	[社会学部]
重久 庄児	古澤 啓太	半田 善則	梶原 静香	安藤 勝康	岡本 倫子	原田 達二	青野 英彦	飯島 健司	岡野 泰和	米田 英一	吉松 靖子	長手 裕輔
[副会長]	戸田 奈都子	八木 直人	鈴木 裕	伊藤 泰弘	大口 芳弘	中岡 栄三郎	青野 正幸	井上 圭太郎	鹿谷 幸平	三宮 朋広	長井 昭夫	山本 孝博
加地 正和	吉田 哲郎	中原 和雄	紀平 昌之	北川 順一	[理工学部]	西戸 栄治	岡部 芳幸	高井 真司	森本 誠吾	高井 真司	山本 勝久	山本 勝久
江田 政亮	打橋 幸	高安 慎一	栗嶋 裕充	石田 裕子	青柳 文浩	松尾 三紀	[国際学部]	村中 宏行	朝山 順平	清水 元彦	奥野 貴司	奥野 貴司
[会計]	[文学部]	中村 和正	松賢児	吉田 元一	藤城 敬吾	山根 英樹	江崎 修一	宮本 健司	町田 健司	木崎 宏光	木崎 宏光	木崎 宏光
狩野 義仁	前田 忠嗣	[社会学部]	川村 拓司	田邊 雅一	小林 誠	森本 俊寿	森本 俊寿	杉原 由高	山崎 理恵	山崎 理恵	山崎 理恵	山崎 理恵
[庶務]	石本 明久	山本 雅彦	辻尾 一仁	岸本 祥	[人間福祉学部]	田中文太	久保田 学	高村 祐輝	[高等部]	寺田 亜紀子	貝田 睦仁	平田 育久
石塚 英輔	後藤 英雄	松浦 徹	満田 千彰	長 浩紀	西村 嘉晃	田附 芳夫	渡部 総一郎	矢川 克己	[高等部]	長谷川 由里子	大西 史浩	大西 史浩
藤沢 利恵	五木 喜己	行俊 美和	伊藤 友啓	三宅 智生	北川 博雅	村田 式子	小野 基次	松本 鉄也	梅田 真樹	加藤 晴子	谷川 夏樹	谷川 夏樹
藤沢 利恵	岡村 暁博	赤坂 好宣	河野 雄一	山内 知佳	西村 勝	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
中 深佳子	廣谷 正次	柴原 裕明	南川 宗督	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
金丸 康治	土井 秀夫	小池 章裕	河野 雄一	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
柴沼 剛	後藤 圭吾	磯野 裕吉	大西 敏晴	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
豊田 正明	後藤 圭吾	磯野 裕吉	大西 敏晴	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
玉田 明人	久保田 武之	向 功	斎藤 誠啓	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
青山 まゆみ	平田 真理	牛島 和幸	碓武 宏章	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
水上 寿美	福田 陽介	上田 晃裕	長沼 秀一	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
福岡 孝史	西 英明	衣笠 由修	[経済学部]	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
酒井 米三	白野 秀継	小村 太一	大久保 武志	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
河野 淳	三浦 義民	遠山 博昭	田中 慎吾	山崎 邦正	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
	富岡 修	福川 幸弘	青木 康広	桑田 大介	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記
	神前 秀樹	尾畑 正治	五十嵐 光博	藤原 二郎	[高学部]	野上 益弘	井田 雅章	麻生 智正	[総合政策学部]	新田 智道	三上 健治	石神 安記



# 院長室だより

院長 中道基夫

2022年4月15日(金)16時頃、朝から4つ目の会議を終えて、院長室で一息ついていました。そこに協阪副理事長が「中道院長に会いに、中学部の生徒さんが来ているよ」と2人の中学生を案内して来られたのです。

普段、中学生など滅多に来ない本部棟の3階、理事長室、副理事長室、理事の部屋が並ぶフロアーに、突然の訪問者がありました。それは、私が4月初めの中学部と高等部の始業式で「ぜひ、院長室に遊びに来てください。ただし、質問を10個考えて来てくださいね」とお誘いしたのが事の発端です。もちろん、冗談でもなく、どうせ来ないだろうと高をくくって言ったわけでもありません。生徒たちからいろいろと話を聞きたい、気軽に訪問できるような院長になりたいと思ったからです。でも、こんなにも早く来てくれるなんて、正直なところびっくりしました。

この生徒から始まって7月末までに、2人の高等部生、4グループ17人の中学部生が院長室に来てくださいました。1グループで10個の質問を用意してくださったのだと思って対応していたところ、1人が10個ずつ質問を用意されていて、合計50個の質問に答えたこともあります。生徒たちが考えて来た質問の内容は多種多様です。好きな色から、「きのこの山」派か、「たけのこの里」派か、子どものときの夢、中学・高校時代の思い出、クラブ活動、恋愛、勉強、聖書や信仰、なぜ院長になったのか等々。

ただ、質問に答えるだけではなく、その質問の内容についてお話することも楽しみです。例えば、「中道先生は何人(国籍)ですか」と聞かれたことがあります。日本人、もしくはアジア人にしか見えない私にどうして「何人ですか」と聞いたのかと尋ねると、「始業式でドイツのことを話していたので、ドイツ人かと思った」ということでした。そこから、「何人(国籍、民族性)というのは、何によって決まるんだろうね。親、それとも育った環境?」と話を振ると、いろいろな意見が出て、話は広がっていきました。私の方が質問をして、生徒会活動、友達との人間関係、校則や校舎の不満にまで話が及ぶこともありました。その時、隣の理事長室に村上理事長がおられたので、訪問してくれた生徒を紹介したところ、中学部の先輩として丁寧に生徒たちの不満にも耳を傾けてくださいました。

もちろん中学生、高校生ですから、悩んだり、迷ったりしています。これからの成長が期待される部分もあります。しかし、不慣れな院長室まで来て、どちらかというと祖父に近い私に自分たちのことを語り、私の話を聞いてくれるポジティブで、オープンな姿勢、またいろいろと考え、それを言葉で表現し、会話する力に接すると、関西学院とそれぞれのご家庭での教育の賜物であることをひしひしと感じています。語学力も大切ですが、このような姿勢こそ「Mastery for Service」を体現する世界市民になる基本的な力です。

また2学期にも訪問してくれるのを楽しみにしていますし、できれば私の方から学校を訪問して生徒たちと話をする機会を持ちたいと願っています。もしよろしければ後援会の皆さまも院長室をご訪問ください。

院長、宗教総主事、院長補佐で構成する院長室では、2~3分で関西学院の建学の精神、教育の基礎であるキリスト教のメッセージを分かりやすく伝える動画配信を始めました。秋から、2週間ごとに配信していきたいと思っています。また、Facebookでも院長の働きの一部を切り取って紹介しています。関西学院のさまざまな広がりを感じ取っていただければ幸いです。



5月31日 中学部生徒会役員とともに

院長室からのメッセージ  
「風に思う」(動画)



院長室Facebook



プレゼントのご案内

## 関西学院の魅力いっぱいのイベントへご招待します!

関西学院後援会通信63号よりすてきなプレゼントをご用意しました。関西学院後援会WEBまたは、下記QRコードよりご応募いただいた方の中から、抽選で関西学院の各団体が主催するイベントに無料でご招待いたします。皆さま、奮ってご応募ください。

応募締切 1 …2022年10月30日(日)受付分迄  
2-9 …2022年11月11日(金)受付分迄

※当選の発表は、各プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

### 1 関西学院大学応援団総部吹奏楽部 第61回定期演奏会



25組 50名様分

日時:2022年11月24日(木)  
開場17:30/開演18:30  
会場:兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール  
※当選の発表は登録いただいたメールアドレス宛に11/4までにご案内いたします。

### 2 関西学院大学応援団総部チアリーダー部 The 36th K.G. Winter Festa



20組 40名様分

日時:2022年12月22日(木)  
開場17:00/開演18:00  
会場:尼崎市総合文化センター  
あましんアルカイックホール  
※当選の発表は登録いただいたメールアドレス宛に順次ご案内いたします。

### 3 関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール



30組 60名様分

日時:2022年12月20日(火)  
開場17:30/開演18:30  
※当日座席指定(当日16:30頃より座席券と交換)  
会場:ザ・シンフォニーホール

### 4 関西学院グリークラブ 第91回 関西学院グリークラブリサイタル



20組 40名様分

日時:2023年2月11日(土)  
開場14:30/開演15:30  
(開場・開演時刻は予定)  
会場:兵庫県立芸術文化センター  
KOBELCO大ホール

### 5 ホワイトボード型 A5ノート



5名様  
専用マーカーはもちろん、ホワイトボードと透明シートが4枚セットされています。ご家族で、またお仕事でもお使いいただけます!

### 6 モバイルバッテリー



5名様  
関西学院のロゴと時計台がプリントされたモバイルバッテリー。外出先でも充電ができて安心です。

### 7 ノートブックPro



5名様  
アイデアを広げやすい横使いのノートパッド。メモも保管できる8タイプの下敷きつき。その時々々の状況に対応する最適なノートです。(純白ロール紙100枚・148×210mm)

### 8 エコバッグ



5名様  
ポーター柄が爽やかなエコバッグ。付属のゴムでまどめればコンパクトに持ち運べます。

### 9 ミニタオルハンカチ



5名様  
タオル生地で作きた、コンパクトサイズのハンカチです。

## プレゼントのご応募について

プレゼントのご応募は、関西学院後援会WEB「各種申し込み・アンケート」からお願いします。



こちらからご応募ください。

関西学院後援会 各種申し込み







2022年7月1日新しい運営委託会社「株式会社カフェ」により、  
レストランポプラのメニューが一新され、グランドリニューアルいたしました!

## Modern American Cuisine

「モダンアップデートされたアメリカ料理」をテーマにメニューを一新!

ランチは、「ナチュラル&ヘルシー」な特製の前菜に、ハンバーグや鮮魚のグリル等のセットがおすすめです。メインが選べるコースランチもご用意しております。カフェタイムは、焼きたてのアップルパイや、アメリカンスタイルのレアチーズケーキ等、パティシエこだわりのスイーツをご堪能いただけます。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。

### おすすめメニュー

#### LUNCH



UMAMIハンバーグセット  
¥1,600

昆布の旨みをきかせたハンバーグのセット。  
ソースは、出汁を使用した和風ソースか、オーソドックスなデミグラスソースを選べます。



SUSHIボウル  
¥1,600

和食職人が手がける、ちらし寿司をライスボウルにしました。小皿とお味噌汁がセットで付きます。

#### CAFE



ホームメイドアップルパイ  
¥1,800

りんご一個まるごとをパイで包み、香ばしく焼き上げています。毎日15時より焼きたてをご提供しています。



シャンパンチーズケーキ  
¥900

香ばしいクランブルにさっぱりレアチーズケーキ、季節のフルーツの入ったシャンパーニュジュレを重ねました。

お誕生日や記念日にぴったりな、  
お得なランチスペシャルコースもございます



#### ポプラランチコース ¥3,000

人気メニューのコース仕立て!  
「体にやさしい」にこだわった前菜プレート、パスタ、メイン料理に加え、デザートやドリンクまで付いた、ハレのシーンにおすすめなスペシャルコースです。

価格は全て税込みです。

### 店舗情報

#### 営業時間

11:00~18:00

LUNCH 11:00~14:00 / CAFE TIME 14:00~18:00

※ディナーは事前予約制です

#### 駐車場

あり

#### 電話番号

[レストランポプラご予約・お問い合わせ]

TEL : 0798-54-1188(直通)

[パーティー・婚礼等ご予約・お問い合わせ]

TEL : 0798-54-6013(直通)

開室時間9:00~17:00

※休館日(年末年始・夏季休館日)は除く

#### Webサイト



レストランポプラ 検索



## KWANSEIGAKUIN CAMPUS WEDDING



### 思いを込めて意味のある最高の結婚式を

関西学院では結婚式をキリスト教主義に基づく生涯教育の一環と位置付けており、結婚式までに司式を執り行う宗教主事と「結婚とは何か?」「人を愛することは?」といった根本的なことを考える機会が設けられています。歴史ある教会での神聖で心温まる結婚式の後は、会館内のレセプションホールやレストランで、披露宴やパーティー、会食を行っていただけます。

### Wedding Report



卒業生のふたりは同じ部活動の友人や親族を招待して今年の夏に関西学院会館で結婚式を挙げられました。関西学院大学学生連盟の公認マスコット“ソララン”を披露宴に特別ゲストとして呼んだり、時計台ケーキに入刀したりとオリジナリティ溢れる披露宴では友人はもちろん、親族にも楽しんでいただきました。時計台を背景に中央芝生で集合写真や友人と写真が撮れるのも関学の結婚式の魅力です。

### WEDDING PARTY



家族だけで行う少人数でのパーティーから、友人も招待した大人数でのパーティーまで人数に合わせて披露宴会場をご紹介します。関西学院のエンブレムが入ったお皿や時計台をモチーフにしたウェディングケーキなど他にはない特別な結婚式を挙げてみませんか?

### PHOTO WEDDING



衣装やヘアメイクなど必要なアイテムがしっかりと揃った、撮影時間が1時間半設けられている特別なプラン。歴史あるランパス記念礼拝堂内で撮影ができるのは、関西学院会館予約センターから申し込みをしてくださった方限定です。

概算見積金額  
¥209,000~(税込)  
※土日撮影限定

まずはお気軽にご相談ください  
ブライダル運営会社 株式会社MITAKA  
TEL:0798-54-6013  
MAIL:kwangakukaikan@mitaka-ltd.jp



お問い合わせはこちらから



# 関西学院後援会

関西学院後援会通信[63] 2022年秋号

事務局 | 関西学院 総務部 校友課

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL.0798-54-6010 FAX.0798-51-0929